京城日報

(年中無休刊)

本紙定價 一部金四錢 一ヶ月金壹圓五拾錢 郵稅前金 三ヶ月同三圓▲六ヶ月同六圓▲一ヶ年同拾貳圓▲郵券代用一割增

廣告料金 五號十四字詰一行一圓五拾錢 特別二圓▲二號七字詰同三圓▲三號八字詰同二圓▲四號九字詰同一圓五十錢▲六號十六字詰金一圓

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番 二長六千九番 振替京城三〇〇番

十月二十七日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

條約委員と米回答

佛國米委員不參加に反對

巴里二十二日發の華盛頓發新聞電報は米國々務卿ランシング氏が「米國は米國上院のベルサイユ條約批准以前には條約委員會に一人の委員をも參加せしむる能はず」と語れることを報じたるが各國外交官等は此の報道に關し非常なる興味を感じ居れり卽ち此の報道は最高會議が十八日を以て米國に對し假令講和條約實施前に米國上院が批准を了せずとするも米國は委員を指名せんことを勸告したるに對する米國の回答なりと見做しつゝあり最高會議は二十三日迄に回答を爲さんことを希望し而して右ランシング氏の陳述は講和條約實施期日の決定に關する大統領ウイルソン氏の意思を代表せるものなりとのことなるが佛國は國際聯盟協議委員會及び條約委員會に米國を加へずして今後の事業に着手することに就き大いに反對し居れり(巴里電報)

外人取締上院通過

外國人入國取締法案は若干の修正を經て二十二日上院を通過せるが下院にして右修正に同意せば裁可の爲め大統領の許に送附さるべし(紐育電報)

支那 山東對策紛々

聯盟提出說と不提出說

山東修正案米國上院に於て破れ支那の上下は大いに失望し右對策に付き種々討究しつゝあり或は主張して曰く顧大使の提案に從ひ之を國際聯盟會議に提出して公決を仰がんと或は曰く國際聯盟に提出するも到底公決を得る能はざらん寧ろ日本と交涉し公正の主張容れられざる曉に於て國際聯盟會議に提出するも遲からずと但し政府部內に於ては陸徵祥氏の歸京後充分形勢を聽取したる後方策を立つる覺悟なるが如し民間一部には此問題は誠に容易ならざる狀態にあれば國民の覺悟を要すること極めて肝要なりと主張し運動を策しつゝありと(北京電報)

殉職將校陞進

今回の海軍大演習の慘事に際し殉職將校に左の通り陞進發表ありたり(東京電報)

海軍中佐 任海軍大佐 笹尾源之丞

海軍大尉 任海軍少佐 伊藤 禎一

薨去せる明石元二郎男

國有林材木及木炭拂下

社會政策的施設

政府は社會政策的施設の一端として國有林の木材を住宅建築用材に拂下ぐると共に全國大林區署の製造に係る巨額の木炭をも拂下ぐることに決定したるを以て農商務省にては二十八九兩日青森、秋田、東京、大阪、熊本、鹿兒島等の全國大林區署長を本省に招致し鶴見山林局長松波林業課長其他關係諸官列席建築木材及び薪炭拂下の實行方法に關する審議を爲し以て供給の圓滑ならしむべしと(東京電報)

宮本博士逝去

帝大教授駒込病院長宮本叔博士は二十五日逝去せり(東京特電)

日銀帳尻

十月二十四日の現在左の如し(東京電報)

發行高	一、〇九一、六二四
正貨準備	八〇三、二二二
限外發行	一六八、四一一
貸出高	三六一、二四二

草間財務官通過

新任哈爾賓駐在財務官草間秀雄氏は今村前財務官後任として赴任の途次二十七日朝釜山上陸十時急行にて北行せり(釜山特電)

山東問題と帝國政府の方針

支那意嚮

山東問題に對する支那の意嚮は未だ確定を見るに至らず北京電報に依れば支那外交當局は本問題を日支間の直接交涉に移すべきや將復將來國際聯盟に提出すべきや政府としては尚一定の方針無く講和全權として巴里會議に參加せし外交總長陸徵祥氏の歸國を俟ち確定の筈なりと言明せりと云ふ元來北京政府部內には此際直ちに日支交涉を開き山東問題を解決すべしとの意見を有する者また尠からざるも南方側には今尚大正四年の山東還附に關する日支交涉に反對し山東無條件回收論を支持するもの存するやにて北京政府當局は其の對南政策上日支交涉の開始に關し責任者たるを回避しつゝあるもの、如し

陸總長歸國

又陸外交總長の歸國は本問題の解決に付多大の効果あるべしとは思はれず蓋し假令陸外交總長が北京に着して巴里會議を通じて見たる世界の大勢を說明し對獨條約中の山東に關する條項を承認し對獨條約の追調印を慫慂するが如き事あるも他面山東無條件回收論者の背後にも有力なる黑幕あるを以て叙上の形勢を一變せん事蓋し容易にあらず果して然らば之に對する帝國政府の態度は如何

帝國態度强硬

帝國政府の態度として仄聞する所に依れば帝國は今後四國の情勢が如何に變更すとも斷然山東無條件還附論に應ずるが如き事無しと云ふにあり元來法理論よりすれば對獨條約に調印せざる支那が對墺條約に對する調印に依り國際聯盟創立國の一員たるを得るや否やは疑問の存する所なるが一步を讓り支那が對墺條約の調印及び批准に依り國際聯盟創立國の一員として加盟國たり得るものとするも依て山東直接還附に關する希望を聯盟會議に提案し得るや否や又聯盟會議が該提案を受理すべきや否や國際聯盟規約に關し嚴正なる解釋を下せば國際聯盟規約は山東に關する條項と共に不可分なる對獨條約の一部を爲すものにして從つて其一部分たる聯盟規約を利用して他の一部分たる山東條項を抹殺せんとするは不可能なりと云はざる可からず

斷然不讓步

只此種嚴正なる法理論を離れ一個の政治問題として國際聯盟が支那の希望を容れ山東問題の提議を受理するに至らんか帝國政府は聯盟會議席上膠州灣租借地及び其他の山東に於ける獨逸の利權を繼承するの一事は講和條約の一部として條約其ものと不可分なるの一事を指摘し一步も讓步せざるべく假に今後米國上院が對獨講和條約の批准に際して山東に關する條項を留保するが如きことありとするも帝國は對獨講和條約に批准を完了し將に其の寄託手續きを行はんとする英佛三大國を始め早晚同一行動を取らんとする他の聯合諸國は勿論對獨講和條約の明文に照し日本の公正なる主張を支持すべく結局山東無條件回收を國際聯盟の力を以て實現せしめんとする支那一部政客の畫策は水泡に歸すべしと觀測さる

鮮銀の金利引上

二十七日より實行

朝鮮銀行にては八月貸出利率の引上を行ひ母國金融市場との權衡を維持し來りたるも本月上旬日本銀行に於て

更に二厘

方金利引上を實行するに及び鮮銀現行金利は再び日本銀行と大體同率となり就中國債以外を擔保とする貸附及割引に就ては一厘方當座貸越に於いては二厘方却つて逆鞘となれり(註)經濟界は其後依然として膨脹を持續し勞働不安並に事業勃興の傾向は鮮銀券發行高既に一億二千萬圓を突破し一方物價騰貴思惑增進貿易入超增加の趨勢と相俟つて財界警戒の必要うた、痛切なるものあり茲に於てか近時一般金融の大勢が漸次引締りに傾きつゝある、固より其の所なり如上の趨勢に鑑み一般財界に警戒を加ふると共に將來の變動に備へんため同行にては本利を二厘方引上げ本月二十七日より實施する事となれり

輸移出資金低率

二十七日より鮮銀にて二厘程の利上を決行せし結果同行の同業者に對する貸出利率は最低二錢二厘乃至三厘となり又一般に對する貸出しも二厘見當の引上を實行する由なれど取引先により又資金の性質に基き或は一厘程の引上に留むるものもあるに似たり殊に輸移出方面の資金は成るべく低率に貸出しを續くる方針なりと尚ほ從來滿洲朝鮮を通じ土地により金利の較差ありしも今後は成るべくその較差を少からしむる事となりたる由

利上影響奈何

鮮銀の利上は當然來るべきものが來りしと云ふを以て當れりとすべし乃ち所謂上中央銀行の利子が母國中央銀行と同率若くばそれ以下なる事は事實逆勢と見るも可殊に內地金融の緊縮金利の上騰に伴ない京城に於ける內地銀行支店の如き最近利上を實行せるものあり鮮銀の利上を待望しつゝある向もありし由にて同行は寧ろ大勢に遲れ之を決行せしものと云ひ得るに似たり只に利上影響は如何と云ふに今日の商取引は商品價格の暴騰し利潤多く金利の高低の如きは問題にせざる傾きもあり殊に今後一般の財界は年末を控へ決濟資金の需要あり又穀物の出廻りも月更まらば鮮滿共に少からずその方面の資金の需要繁忙の見込みにつき大體に於て一般貸金の控制を行はんとするにあらずやと察せらる、により結局貸出資金用途の種別にて需要の緩急を受くるやも知れず

財界閑話

朝鮮及び滿洲を通じ百圓札の需要激增し一昨年頃まで百萬圓見當しか出てゐなかつたのが此頃に二千萬圓も發行されてゐるとは横山鮮銀局長の話してある▲百圓札の市場に多く出ると云ふ事は兎に角財界單位の昂上を示すものであつてすべての取引の膨脹が語つてゐる乃ち從來十圓札で十分だつたのが此節は百圓札を用ひねば札數が嵩み面倒と時間を費やすやうになつたからとも見れる▲仁川取引所の期米賣買の如き二三年前までは合の丸持ち鮮人が十圓札を古新聞に包んで虎の仔のやうに大事さうに證據金にもつて來てゐたさうだが最近その十圓札が百圓札に變り然も以前の十圓札程大事さうにしてゐないとの事だ▲地方農村が米高豆高で著しく潤つてゐる事はこれを以ても知れる、米高、豆高が今後尚ほ引續くならば鮮銀の百圓券は一層出て行くであらう▲尤もおかげで俸給生活者は益々生活難を喞たねばならなくなる、閑話子の机上に[illegible]札が舞ひ込んだが怨むと云ふ[illegible]斯樣な考へを有つてゐる人も少くあるまい▲補助貨…殊に銅貨の不足は甚だしく市中では切手に薄紙を貼つて補助貨代用とし受くる方も出す方も怪しまなくなつた困つたものである[illegible]補助貨は法貨として[illegible]通用力も制限されてゐるのであるから現今規定の銅貨鑄造[illegible]ばウント質を落し流通に差支へない位にして大々的鑄造をやつたら如何であらう

市中金利引締

鮮銀利上決行に伴ない二十七日より市中各銀行の新規貸出並に割引利率は一厘乃至二厘方引締めたり

預金利子据置

八月並に十月と引續き京城各銀行の貸出金利引上げありし結果預金利子引上問題も一部に於て課せられつゝあるが朝鮮銀行は適同內地有力銀行の預金利子不引上となりし結果當分利上を行はざる方針なりと唯市中銀行間には一定の確守すべき協定利子なきため貸出し金利引上に伴ない多少の利上は實質に於て行はるべきか然も表面の改定をなすに至らざらんと觀測さる

辭令

今回左の通り辭令ありたり

總督府判事 坂口 勇助

陞敍高等官五等

總督府司法官試補 太宰 明

任總督府判事(七等)

總督府司法官試補 酒井 赳夫

任總督府檢事(七等)

陞敍高等官五等 福士 德平

釜山公立商業學校教諭

公州公立農業學校教諭 岡林 袈裟彌

陞敍高等官七等

京城商議改選

選舉人名簿縱覽

來る十二月一日京城商業會議所評議員定期改選に付き十一月一日より向ふ七日間(日曜日を除く)毎日午前九時より午後四時迄同會議所に於て選舉人名簿を縱覽に供すべく若し關係者に於て右名簿に異議あるときは縱覽期間內に其理由及び證憑を具し原田會頭に申出を要すと尚鮮內人別各級の評議員選出數は追つて發表せらるべしと

金融組合狀況

九月末に於ける京畿道金融組合資產負債の狀況を聞くに組合數三十六組合員數一萬六千三百九十六人出資金三十七萬五千八百五十圓なり之を前月末に比較せば組合數に於て增減なく組合員數千五百七十七人出資金一萬三千九百餘圓の增加を示せり

教員試驗終了

二十一日より南山町京城高等女學校講堂に於て施行中なりし小學校及び普通學校教員試驗は二十六日を以て終了したるが今回の受驗者は總督府に於て施行の分は第一種三名第二種七名各道に委託したる分は第一種十三名第二種二十六名なりと

殖鐵創立期

西鮮殖產鐵道の株式應募狀況は尚ほ申込者の未着あれど結局百二十倍位なるべく月內に株式の割當を了し來月匆々拂込の通知をなすべきが創立總會は當初十一月二十日の豫定なりしも目下の模樣にては十二月一日頃とならん

仁取監査役認可

仁川米豆取引所社長吉松兎三郎氏より去る十九日の臨時株主總會に於て改選の結果選任せる監查役原勝一(新任)天日常次郎、齋藤久太郎、白神專一、丁致國(以上再選)の就任認可申請をなしたり

齋藤顧問來城

吉林督軍顧問齋藤大佐は事務打合せの爲め二十七日來城朝鮮ホテルに入りたるが二十九日迄滯在すべしと云ふ

◎鮮銀券日報

二十四日現在左の如し

發行高	一二一、三三三、六二七圓
正貨準備	五四、五四八、三二一
保證準備	六六、七八五、三〇六

人事消息

▲久保滿鐵京管局長 (廿七日朝大連より歸城

▲平澤鐵道副官 金泉附近に於ける演習視察なし廿六日歸城

▲有賀光豐氏(殖銀理事) 二十七日夜歸城

▲小山庄三氏(鈴木商店支店長) 二十七日午後七時五十分發列車にて神戶へ來月十日頃歸城の豫定

▲中野淺氏(大邱鮮銀支店長) 廿七日入城不知火へ

▲ヒントコンチャ中將(智利國前參謀總長) 駐日智利公使夫人及同令孃二名同國大尉アーマ氏一行は廿七日午後十一時南大門驛發列車にて退城奉天經由北京に向ふべし

懸賞川柳 (十九)

劍花坊先生選

貧の盜み

金二圓 五葉 神棚に申譯してまた盜み

清州 涼月 病父に買ふたと貧の盜み物

青葉町 土呂 ぬす人の家は藥のにほふ家

京城 水屋 盜んでは貧乏神に皆貢ぎ

京城 猪早太 妻故に子故に盜む思案なし

永樂町 溪舟 出來心百圓札を持餘し

細付へ妻子が縋る出來心

其の日その日

◇嗚呼明石臺灣總督。將軍や陸軍の一鬼才、其材幹は日露戰爭に於て、朝鮮併合當時に於て遺憾無く揮せられたるは世人の熟知する處也。臺灣の施設未だ多く成るに至らずして逝す、之を惜む者、豈啻臺人のみならんや、謹みて弔意を表す

◇上海佛租界に巢を作つた不逞鮮人等の假政府は、鐵槌一度下つて紛碎さる。彼等が空中樓閣を夢想せしは、彼等の血に混じれる數百年來の事大思想に外ならず。彼等の不明は、遂に自ら其の身の處置に窮極せむ。憐むべき哉

◇東京小石川は富坂邸こそへば、今は昔の椿山莊、早稻田邸と並稱せられ、人も知る隱居浪人組の筆頭、當代の大久保彥左衞門こと、三浦觀樹將軍が、皮肉の居構へ也。將軍如何に感ぜしか、此の由緒ある邸宅を、人手に渡して、世人を驚かせり。但し條件に曰く、此の邸宅は唯の者には賣らず、誰か成金にウンと高く賣るこそ、何處迄もすねる處面白さ、變には秘藏品を賣り、今又邸宅を手放さんとす。辭說か將軍が近時矢鱈に金をこしらへるは不審也。何か一ごと芝居打たんとするに非ざるか其人が人丈けに興味あり。

◇先達て上京して、內閣諸公と肝膽相照らしたる俠客連、新に立憲勞働黨なるものを組織し政友會の別働隊として、大いに政黨の爲に盡すべしと、其の眞否は知らずと雖も、勞働黨は大いに振つたり。遠くば寄つて音にも聞け、近くば寄つて目にも見よ、勞働黨の領袖にて、ミトント踏出す毛脛に反對黨を踏付け、大目玉を剝かば、其こそ天下一品の大芝居ならべし。

正誤

本月十五日紙上へ掲載せし東京證券株式會社の廣告中同社の商標が とせしは誤にて同社正當商標は に付此段正誤す

淑女畫報 十一月號 寸鐵

畫報

◎繪を見る女 吉岡千種

◎二皇子殿下の院展御成

◎久邇宮各殿下の院展御成

◎村雲尼公と日淨尼公の閉院式御臨場

◎院展出品と女流畫家

◎モデルに對した麥僊 畫伯と夫人令孃

◎新婚旅行 伊藤氏夫妻の記念撮影

◎素人に出來る新式化粧法

◎代用食馬鈴薯團子の作り方

◎懸賞寫眞「風俗判じ」

其の外名流令嬢寫眞滿載

讀物

◎(創話)水穿石 南條博士

◎(古今佳話)巾幗社會 熊田葦城

◎神經衰弱の自然療法 田村松魚

◎閨秀歌人廿五家(婦人月旦)

◎(美談)二代目幾松 今井藻水

◎(裁判情話)お銀と雪松 毛利碧堂

◎(茶日記)兼庵の活劇

◎(家庭の趣味として)小鳥と其飼方

◎(朝鮮傳說)三奇八怪の話

◎婦人記者の僞らぬ告白 田中

◎(源平史譚)禪尼の命請 博士

◎(源氏物語)若紫の君 日向きむ子

◎(家庭小說)心の家 大倉桃郎

◎(歌說)愛と心

◎(歌話)南畫と寫經

◎(小說)愛の惠

定價五拾錢(郵二錢) 東京市 博文館 振替東京二百四十二番

◎卷頭附圖 日本人發展地圖

◎不作同盟(二百萬小作人の作農實地調査)

◎出でよ階級に我國勞働者に戒告す 鎌田榮吉

◎治安警察法第十七條とは

◎サボタージユ是非

◎滑稽新隱語辭典

◎浮氷上の英島帝國

◎新入營者に與ふ

◎笑話殿樣の留學

◎沃度療法(肺病、腦病、胃病等)の實驗効果 牧野千代藏

◎病青年に與ふ 內村鑑三

◎青年自殺の研究 杉江學士

◎全國青年團訪問記

◎實業界新人國記

◎精力集注法

◎過激派の虐政兒童國有

◎桝本氏の選ばるゝ迄

◎長男の悲哀 河津博士

◎顯微鏡利用の證書鑑定(學界新發見) 高山博士

◎(國防の危機)包圍されたる日本 海軍大學教官

◎我輩は稅務官吏である

◎金光教祖の迷信

◎(歷史小說)支倉六右衞門

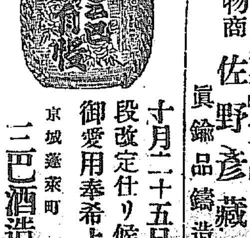
郵稅(反) 江木 定價拾貳錢

眞鍮品鑄造

蝶番。取手引落類其他何デモ御下命通リ迅速安價ニ出來マス

京城本町一丁目 金物商 佐野彥藏商店 眞鍮品鑄造工場

優等清酒



十月二十五日ヨリ價段改定仕リ候間倍舊御愛用奉希上候拜具

京城蓬萊町 三巴酒造株式會社 電話長二〇六番

戰時中に樹立されたる我國の經濟的優勝の位地は歐洲の產業全く復興せざる限り容易に退步せざるべきは固より、流血五年凄風慘雨の餓鬼道生活に飽き果てたる交戰國民の絕へて久しき泰平享樂の無二無二的欲求に愈々我が供給を促進し來るべきは想像に難からず春來株式市場が一張一弛を繰返しつゝも終始一貫向上の步調を失はざるは全く此間の消息を反映せるものと存候

營業案內御申越次第御屆可仕候

大阪株式取引所仲買人 藤井吉平商店

大阪市東區北濱二丁目 電話本局長八五六番 八五七番 長八五八番 八五九番 振替口座大阪四七、八二〇番

國家經濟的靴

丈夫さ高價さを兼備す弊店直賣のゴム底靴はカルクして御召し工合良く耐久力在來底靴の五倍靴一代修理を要せず

自慢の實用均一靴

上等ボックス製靴

中央新聞一等當選 安價良品

其他高等靴種々◎御注文は必ず足袋文數御記入を乞ふ◎定價表郵券二錢內地送料廿五錢海外五十錢

東京市日本橋區濱町二丁目新大橋通り ゴム底靴元祖 田中東京製靴所 電話浪花四七三六◎振東三五七〇四番

美味にして衛生に適し取扱經便にして經濟なる

キンク印 料理之素

料理の素を溶して肉と野菜を入れて煮れば直くシチウが出來、ハヤシビーフも牛肉と玉葱を入れれば即席で食べられる其他あらゆる西洋料理が此品を使へば誰れにも容易に出來る

全國到處の名食料品店に有

製造元 日高製作所食品部 發賣元 東京銀座 菊野商店

臺灣總督府御用品專賣特許ヒロード紙一名活動紙製造 東京市麻布區龍土町四四 活動紙部

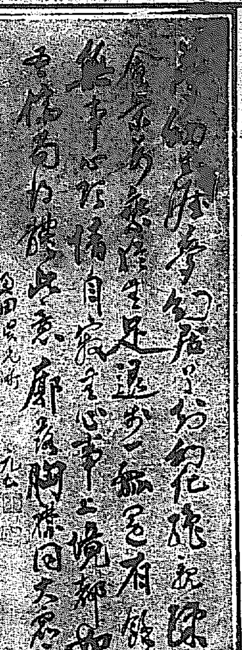
海陸軍御用品 乾燥蓄電池及製造販賣 東京市京橋區南鍋町十三 食品電池染料部

靴墨用染料ブラック及鞣性ブリユー染料製造工場 東京市外北品川御殿山 電話高輪二五七番

日高製作所 所主 日高英次郎

故明石將軍の筆蹟

特に將軍の遺墨は有觸れたるも當は稀なり



明石男薨去

二十六日午前六時發喪

遺骸は軍服帶劍の儘 臺灣産の檜の棺に

明石臺灣總督は福岡市大名町松本氏別邸にて終に薨去し二十六日午前六時を以て正式に喪を發表したるが遺骸は二十六日午後三時より近親一同の手に依りて涙ながらに軍服、軍帽、帶劍の儘なる姿にて臺灣産の檜の棺に納めて臨終の室に安置せられ引續き筥崎宮司緒方尾治氏齋主となりて棺前祭を行ひたり

府葬は來月三日

臺北共同墓地に埋葬

葬儀は臺北にて總督府の手に依りて府葬に附せらる、ことは既報の如くなるが這は同總督が豫て死しては臺灣の土とならんと云ひし生前の意志に依るものにて臺北三板町の共同墓地に埋葬さるべく又府葬は總督府と打合せの結果十一月三日執行のことに決せり(福岡電報)

遺骸は亞米利加丸で

廿九日門司發

明石總督の遺骸は二十九日午後四時門司發亞米利加丸にて臺北に移送する筈(下關特電)

其の官歴

正四位勳一等功三級陸軍大將男爵明石元二郎氏は福岡縣士族明石助九郎氏の二男にして本年五十六歲(元治元年八月一日生)明治十年六月陸軍幼年學校に入學、同十六年十二月少尉に任ぜられ、大正元年十二月陸軍中將に陞任、同三年參謀次長より第六師團長に補せられたり、是より先明治廿七年陸軍大學卒業後獨逸に留學を命ぜられ、翌二十八年歸朝直ちに近衛師團參謀として日清役に從事して功あり同卅七年再び歐洲に差遣せられ、翌卅八年歸朝で獨逸大使館附、歩兵第七聯隊長、第十四憲兵隊長等に歷補し同四十一年十二月韓國駐箚軍參謀長となり、次で朝鮮駐箚憲兵司令官、朝鮮總督府警務總長として在職數年に及び暴徒鎭壓の功に依り勳二等に陞叙され大正七年臺灣總督となり大將に陞任せり、夫人ノブ子は黑田一類男の叔母にして一男二女あり、長男元長氏は當年十四歲、長女萬子は山脇醫學士に、次女は鈴木氏に嫁せり

不逞鮮人に大鐵槌下る

上海假政府の解散

警務局著公電

二十六日午後外務次官より警務局宛左の通り公電ありたり

上海佛租界官憲は我官憲の請求に應じ同租界に於る朝鮮假政府の解散を命じ獨立新聞發行所を閉鎖し同新聞の發行を禁止せり

渺たる一結社

巧妙な手段で良民を欺瞞 迷夢から醒めよ

赤池警務局長談

上海佛租界に巣を食つて居た朝鮮假政府の存在と彼等の發行になる獨立新聞とは一言にして掩へば甚だ不都合極まるものであつた。之を其儘に放任して置くことは國家の治安を妨害し且つ國家の威信を傷けることになるから帝國官憲では佛租界官憲に請求し假政府の解散を命ずると共に獨立新聞の發行を禁止したわけである。此の自稱假政府の宣言と獨立新聞の發行とは、渺たる一結社の蠢動であつたに拘らず鮮人多數の民心に

影響する 所は大にして且つ怖るべきものがあつた。何故しかく影響が大であつたかと云ふに、彼等假政府なるものは米國其他の强國が後楯となつて居るかのやうに見せかけた爲め、多くの人は假政府の基礎が鞏固であり近く朝鮮は獨立すべきものと

誤信した 結果に外ならない。而して彼等不逞の徒輩が如何に巧妙なる手段を以て良民を欺瞞したかといふに米其他の領事などから一寸した私宴に呼ばれて行つても『米國は我假政府を認めて居るから國際關係上宴會に行つた』など、吹き立たものである。而して成る程

或程度迄 は民心を惑亂し一時は自稱假政府の存在を天下に知らしめ得たやうなもの、其の結果は如何であらう?彼等が强調して居た米國は、援助どころか山東問題でも日本の向ふを張る能はず、彼等の保護者であるかの觀があつた佛國は斷乎として彼等不逞徒輩の集團に

大鐵槌を 下したではないか。之で國威を傷つけ、民心を惑亂し、虛說を捏造して居た不逞鮮人の根據が覆へつたわけである。今後當局が彼等不逞の輩に對して如何なる方法を講ずるかは言明し難いが、今度の處置によつて多くの鮮人が迷夢から醒て徒らに事大思想に動かされない堅實な國民に立戻ること信ずる。

寺內伯容態

格別變化なし

寺內伯の容態は其の後漸次良好になりしも二十五日頃に至り再び病勢增進したりと傳へられたるが右に就き寺內伯邸內部の事情に通ぜる某氏の談に依れば一般に其の後の容態は一進一退を免れざるも去りとて別に病勢急進せりと云ふ程にもあらず二十六日は平井赤十字病院長來診せるが右は豫定の來診にして容態の變化の爲めには非ず。伯は時々看護の者を叱ることあるも這は伯平素よりの癖にして特に怪しむに足らず。目下呼吸脈搏共異狀なしと又兒玉伯は伊藤公十年祭の爲め谷垂なる同公墓地に參拜せり(大阪電報)

水田中尉出發す

郵便歸還飛行

天候不良の爲め空しく三日間を延期せし郵便飛行選手水田中尉は二十六日朝東海道各地よりの氣象報告觀測が好晴を報じたるより愈々飛行と決行し直ちに帝國飛行協會の羅羽氏並に戸田德永兩大佐と共に午前六時飛行場に至り諸般の準備を爲しつゝありしに最初は霧深く生駒山さへ其の姿を見せざりしが其の後漸次霧霽れたるを以て十一時四十分中尉は勇躍して機上の人となり日本飛行機製作所栗原技師同乘し北より南へ滑走六十米突にして離陸市の上空に於て二回の旋廻飛行を行ひたる後機首を東に轉じ午後零時七分機影は東方の空に沒し去れり(大阪電報)

慘事別報

驅逐艦濱風 卒二名も重傷

二十四日海軍大演習の際驅逐艦濱風は司令笹尾大佐搭乘指揮の許に防禦演習中同艦も亦發砲を始め笹尾大佐等の爲め艦橋に頭部を打ちつけ即死し同艦長加島少佐以下卒二名又重傷を負ひたるより同夜横須賀に入港負傷者を海軍病院に移せり(東京特電)

車中に虎疫

乘客全部隔離さる

二十五日午前七時木浦發大田驛行列車中江景附近にて旅客一名疑似虎疫に罹り江景驛に下車隔離さる同乘の旅客三十名は大田驛にて下車隔離せしめ列車は嚴重に消毒せり(大田特電)

醫專の解剖祭

開教院で盛大に擧行

廿五日午後三時より京城本町淨土宗開教院に於て醫學專門學校、各宗寺院聯合主催の下に解剖祭行はれたり、正面祭壇上には白木造の大位牌を安置され百味珍菓の供物山を築くあり香煙遙かに靈を迎ふ、場內は主催側を初め遺族同校學生看護婦等を以て滿され、やがて淨土宗總人合員等を以て定刻を告ぐる梵鐘響に式は初まり讀經禮拜の間に導師の表白文、主催者の祭文等ありて四時二十分全く式を終れり式後開教院主任の說教あり

切つて落した機動演習の幕

序幕は斥候戰から、

永登浦市中に漲る演習氣分

諸兵聯合の機動演習の幕は愈々切つて落された二十三日來演習中であつた歩兵第七十八聯隊及び歩兵第七十九聯隊は二十六日を以て聯隊の秋季演習を終了し二十七日は何れも休養、日沒と同時に奥田統監から與へられる想定に基き各部署に就く東軍は富塚大佐是を率ゐる西軍は堀田大佐是を指揮する東軍は忘憂里附近に西軍は仁川附近にあつて日沒と同時に互に敵情を搜索しつゝ二十八日拂曉壯烈な遭遇戰を見るであらう、前哨は各地に設けられ斥候は幾組も出沒する兩支隊長の決心如何、思ふに漢江橋梁の奪取こそ天下分目の戰ひであらう

師團長駒を進む

統監部動く

龍山より永登浦へ

演習統監奥田少將は二十七日朝そぼ降る雨を物ともせず統監旗を颯爽と翻して龍山から永登浦に進めた、永登浦はもう演習氣分が市中に漲り、至る處で柏車と佩劍と相打ち白い腕章をつけた軍人が左往右往する鮮人の面長は此の機會を利用して誠意を披瀝しやうと何かと心を配つてゐる。午後からは雨も上りの日が赫と照り出した、知らぬ敵前露營の夢如何(永登浦にて特派員)

油斷がならぬ

鮮人の雇人

龍山漢江通十三番地理髮店伊藤伊平方雇人安城郡生宋泰鉉(二七)は二十五日午後二時半頃家人の隙を窺ひ店主が抽斗に納め置きたる現金二百圓を竊取逃亡し行方を晦ましたる旨龍山警察署に訴へ出でたるを以つて直ちに各署に手配し嚴探中犯人は和服に姿を變へ新町遊廓鮮人娼妓二名を相手に花と眺め紳士氣取りにて腕車に乘り優美館見物に出掛くる途中にて逮捕したるが二百圓の中和服帽子靴等に三十七圓を費消したり犯人は十七のチョンガーなるも不逞の奴にて安城龍山京城等に餘罪多く目下取調中なり

內地人には家も貸さぬ

國境の鮮人

國境咸鏡方面の鮮人は益々險惡となり內地人には家屋を貸さず(淸津特電)

京城全市が糞尿攻め

人夫や馬車の拂底から

景氣の好い建築界は昨今結氷季を控へて京城建築界は昨今目覺しい活躍を呈し何時も人夫や馬車は拂底してゐる府廳の土木工事は費用の關係から絕らず人夫や馬車賃で苦しめられ殊に衛生の仕事などは全く費用の出所がないので或は京城全市が糞尿攻めに逢はねばなるまいかと云ふ狀況である過般漸く追加豫算が出來上つて之ぎは付けたもの、又亦人夫と馬車賃で弱つてゐるらしい府の越川庶務係は云ふ『民間の諸工事が人夫や馬車を高い賃金で集めて結氷期までの仕事を急いでゐるので府の諸工事の如く延期にやる事は出[illegible]就ては到底不可能である皆つて女州で人夫を得る計畫があつたが之も人夫を收容する費用の點で駄目になつたので今日では衛生の諸仕事が出來兼ねる狀態にあるが府の仕事は一日も緩せないので困つてゐます』

群山の虎疫

終熄近し

一時猛烈を極めたる群山地方に於ける虎疫は昨今終熄に傾きたるが十月二十三日現在調査に依れば群山府內に於ける發生患者は一名も全く隣接沃溝郡內に僅に二名の患者を出したるのみなり群山府內に於ける初發以來累計患者は內地人八名鮮人四十九名死亡內地人五名鮮人二十八名全治內地人一名鮮人十三名現在內地人二名鮮人八名にして沃溝郡の內初發以來累計患者は內地人十名鮮人三百八十四名內死亡內地人七名鮮人二百三十五名全治內地人一名鮮人四十三名現在內地人二名鮮人百〇六名なりと(群山)

大邱の初氷

二十三日朝の大邱最低氣溫は零下四度を示し測候所露臺上に氷を張りたるが是れ大邱の初氷にして昨年に比し二日例年より九日早しと(大邱)

鮮人の美擧

忠淸北道永同郡黄金面秋風嶺にては十月二十四日小學校運動會を開催したるが當日鮮人にして而も富裕にあらざる身にして何等勸誘もせざるに金品を寄贈せしものあり集合の內地人は何れも此美擧を稱讚し內鮮人共和氣藹々の裡に散會せり(秋風嶺)

▲金一圓鉛筆五打宋錫九▲金一圓雜記帳二十冊崔鍾漢▲金五十錢鉛筆五打崔鍾震鄭晩出金有奉

軍艦龍田の椿事

砲塔內の火藥爆發し 脇田少佐外三名負傷

二十六日横須賀鎭守府發表、巡洋艦龍田は二十四日演習中砲塔內の火藥に引火し是が爲め海軍少佐脇田四郎氏外三名の負傷者を出したり(東京特電)

列車に投石

二十六日午後釜山發奉天行列車が函市良賀間進行中列車を目蒐けて投石した鮮人あり爲めに左側窓硝子二分の一下部一枚破壞し旅客內地人一名左眼上部に負傷したり該所では目下犯人嚴探中

本社優勝旗爭奪庭球戰 (上)試合の光景 (下)賞品を抱へてニコ〳〵せる優勝者岡部森兩選手

本社優勝旗爭奪戰

老巧と新進との試合

月桂冠は岡部森組へ

本社主催の本社優勝旗爭奪庭球選手權試合は豫定の如く廿六日午前九時より明治町三井物産コートに於て擧行されたが朝來の曇天に加へて微雨さへあつたので定刻に參集せざる向きも尠くなかつたが抽籤に依つて對手は定められ午前九時第一回戰に入つた

第一回戰

出場三十二組の試合は二個のコートで陸續行はれた戰蹟左の如し

井藤井上……飯島永野○
佐藤岡本……木曽大島○
○中川內藤……近藤堀
松浦東……寺尾諏訪○
堀田横田……岡本山下○
神崎李……岡部森○
○村田中村……林　佐藤
久保久保田……松本大前○
○高平森永……森山平山
○矢野大內……團　永山
○會田古賀……祖　朴
菊田野崎……諸岡井田○
吉田中村……具　金○
城谷桐木……高島加藤○

第四回戰

第三回戰は益々精鋭の奮闘だけに非常な戰が交へられ全鮮庭球界の重鎭とも目せられてゐる四組が選まれた

○荒木西山……浦尾小山
○永井竹內……宗像牧野
矢野大內……岡部森○
中川若泉……諸岡井田○

決勝戰(第五回)

○岡部森……諸岡井田

決勝戰は老巧岡部森組と新進の諸岡井田組だけに張り合ひ目すべき絶好な試合であつたが殘念ながら三對一で諸岡組が破れ岡部組が大捷した本社優勝旗は二十日東京の三越本店を發送したる由なるも未だ到着せざる爲め遺憾ながら當日は右目錄に止めることとし退田本社理事より賞牌を協贊へ贈つた商銀の岡部森組は茲に再び覇を稱する事となり試合を終つたのは午後四時であつた。

醉つて亂暴

府內樂園洞四十五番地徐春西(五六)は二十四日午後七時十分頃樂園洞にて泥醉して通行中傷人に對し管を卷き果ては暴行を爲すより同洞派出所詰巡査が制止し乍ら派出所に連行したるも益々猛り立て窓硝子を破壞するなど手に負へざれば止む無く鍾路署に連行し一夜を同署に留め置き翌朝醉の醒るを俟つて將來を戒め放遣したり

同情

廿五日夕刊所報『鮮人の悲慘事』と題する記事の遺族に同情し左の通り寄贈あり

金五圓也 京元町鮮人△金一圓 龍山漢江通四番地 市川榮

人夫慘死

十六日午後二時二十五分釜山驛貨車線より貨車四輛引出しの際大西商店人夫鮮人(二三)は石炭車より搬出の荷物を擔ぎ過つて列車に觸れ即死を遂げたり死體は檢死の上遺族に引渡せり

○滿鐵菊花品評會 滿鐵社友會娛樂部園藝係主催にて來る三十一日より十一月二日迄(每日自午前九時至午後四時)社友會々場に菊花品評會を開き社友會々員出品に依る菊花を一般の觀覽に供し佐藤三郎大內要一ノ瀨武內三氏の審査に基づき優良のものには一、二、三、四、五の各等に分ち賞品又は賞狀を贈與する由

菊の話(上)

學術的の研究

工藤武城氏談

來る天長の佳節をトし京城日報社で菊花品評會を催されることは、我々菊を愛する者は大いに賛意を表して居るわけですが、菊と云ふとに就て私は多少研究して居ります。研究と云つても實際の栽培法でなく單に學究的の方面からですが、それでも可成りの興味があるやうです。一醍菊と云ふ名稱は

文學方面 から見れば萬葉以前には見當りませんが桓武帝の時始めて文學として現れて居ります。帝の御製に「このころの時雨の雨に菊の花散りぞしぬべきあたらその香を」と云ふのが菊を詠んだ歌として始めてのやうです。爾來九月九日を以て觀菊の御宴と定められたのも亦その時代から始まつたものでせう。菅公の

有名な詩 『去年の今夜清涼に侍す……』と云ふのは菅公が筑紫に流謫の身となり觀菊御宴に侍つたときの事恰度九月九日に思ひ出して帝を慕ひ奉つて居る心持ちを詠じたもので、『……餘香を拜す』と云ふ末尾の句は天恩と菊の香の殘りを拜すると云ふ兩樣の意味を含ませたものに相違ありません、それを近來では單に天恩一方に意味を採つて觀菊御宴に侍つたときの詩情を沒却して解釋して居るやうです、それから

菊の語源 ですが之は外國の書物でも日本の書物にも古いものには中々見出されないやうです、日本では古く菊理姬と呼ばれて居たらしく鮮音ではキク若しくはク、と發音されて居ます我々本草學の方では『河原よもぎ』又は『可原をはぎ』と稱し、外書の本草學には菊の字が見當らず同音の鞠或は女節花、又は女花と云ふ字や名稱を附けてあります

支那では 范成大、劉蒙史合著の菊譜、花史左編の群芳譜の浩瀚な本ですがその中に倭菊は別名を新羅と呼ばせ、白菊は日本から渡來したものだと書いてあります。之に依つて考ふるに新羅(シラギ)は白菊(シラギク)から轉訛した名前かも知れません。さうすれば朝鮮の新羅と日本の菊とは歷史的に微妙な關係があるかも知れませんそれから

菊の傳來 ですが本朝通記には仁德天皇の七十三年に唐から我國に渡來したとありますが後鳥羽帝の文治二年に唐から渡來したと云ふ說が我々本草學の方面から見ても正しいやうに思はれます。

運動界

東專野球大會

東洋協會では今秋の野球季に殆んど野外試合が出來ざりし爲め廿六日午前九時より龍山鐵道公園に於て同校秋季野球大會を擧行しABCの三組リーグ戰を試みたり新進氣鋭の事とて試合は非常に緊張せり、メンバー左の如し

A
鍋倉石內田納下江中
眞佐南河池加木古山
123456789

B
野岡口田田田間村田
123456789
山國山越平和佐木山(久)

C
村黑崎田田木上山岸
奥石宮寺杜鈴池影山
123456789

本社捷つ

本社對日置商店聯合軍との野球試合は廿六日午後一時より訓練院廣場に於て擧行本社軍大捷せり

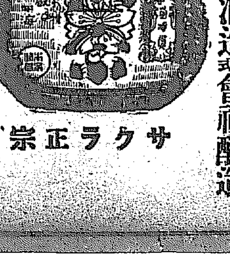
野球練習戰

醫專軍對本社の野球練習戰は廿六日午後三時より訓練院に於て擧行されたり

頃

南鮮地方の虎疫は大分下火になつた來月半頃には終熄の見込[illegible]第二[illegible]豫算に屆[illegible]防疫費の過半を投じたなら丈夫だらうとは視察から歸つ[illegible]部保安課長の談▲今年は大[illegible]の加減か菊の出來が頗る[illegible]從て値も却々高くチョットした[illegible]のは三圓から五圓位するさう[illegible]▲京城ホテルの伊藤公十年祭[illegible]稀に見る靜肅な祭典であつた[illegible]して禮拜の時內地人側が讓つ[illegible]鮮人側から先に參拜させたの[illegible]奥床しく見えた▲群山の篤志家[illegible]熊本氏曰く『現金を昔の儘に[illegible]で取つたら可いでせう米は諸[illegible]價の基準を爲して居るから』▲又曰く『以前から學生一人の[illegible]費は米一石と假定して居まし[illegible]が現在でも一石の米で學費は[illegible]ります』

十月卅日卅一日兩日間競馬會開催
十一月一日平壤稅關前空地に於て馬の糶賣開市
糶賣買に付いては手數料として相方より賣買價格の五分宛を申受候
十月二十八日
平壤乘馬會

宮內省御用達

サクラ正宗
兵庫縣灘魚崎 山邑酒造株式會社釀造
櫻正宗發賣元 山邑酒造株式會社京城支店
京城明治町二丁目 電話長八四九番・一四五四番 振替貯金口座京城七五五番

桃中軒
浪界のレコード破り
故雲右衛門入道……其儘と定評ある
富士右衛門一行
廿七日午後六時開演
浪花館

一滴ですぐ白くなる
日本に初めて出來た
純白美乳(ホワイトビニュー)
何故純白美乳を外出の前に必ず一滴塗ける習慣のついた方が何處へ行つても美の焦點として衆目を惹くのでせう乎。……斯ういふ噂が近頃婦人社交界で話題になつてゐますがそれは純白美乳を一度御使用になれば誰樣でも直ぐ成程と合點が參ります。即ち評判の日本に初めて出來た生地から色を白くする美乳のあの不思議の美白素を基礎として更に濃厚秘劑の配合したのが此品、ですから美乳を家庭で朝夕常用し十二分に生地を整へた上いざ外出といふ時タッタ一滴此の純白美乳を塗ければ忽ち水際立つた化粧榮効果の顯著さは博士も驚嘆した程……
(定價 參拾錢)

本舗 大學目藥本店 矢野芳香園

第五版

[illegible]

小說以上の奇話 馬賊に捕はるゝまで

酒井退役騎兵大尉遭難談

吉林共榮公司員酒井親輔氏が馬賊に捕はれて約半歳抑留せられたることは吉林及び哈爾賓特信の報ずる所なるが更に其の後著したる長春特信も同氏が世人の想像も及ばざる苦痛を舐めて漸く吉林に歸着したる悲慘なる狀況を報じて頗る詳細を極むるものあるを以て重複を厭はず左に掲ぐべし

本年四月中旬より約半歲に亘り馬賊の人質として有らゆる苦痛を嘗め濛江縣の山中に賊徒と共に彷徨せし吉林共榮公司員にして退役騎兵大尉酒井親輔氏は去る十三日漸く賊徒の手より免れ吉林に歸着し今回歸國の途次長春に立寄りたるが氏の遭難談を聞くに左の如し

細心の注意効無し

最初の旅行目的と云ふのは濛江縣に居住して居る一支那人から自己所有の廣大な土地を利用して日支合辨を以て何か有利な事業を興したいとの申し込みがあつた其實地視察の爲で賊難と云ふ事に付ても種々考究はしたが同地方の事情及馬賊の狀態に付て相當の知識もある地主側より二名の案内者が附隨し且彼等とても個人的のものでなく數名或は

數十名と隊伍を

組でるのであるから相當の節制もあり萬一の場合は理を以て話をすれば無闇に危害を加へるものでもあるまいと茲に相談一決して地主及び其案內者に自分(酒井氏)と從者の支那人と一行四名にて吉林を後に濛江に向つて出發したのは此の地方では未だ〳〵春の暖かさを知らぬ肌寒い四月の十日であつた他の三名は固より自分も編入の

支那服に身を堅

めて途中行交ふ支那人にも氣を配りながら泊りを重ね双河鎭より樺甸山、盤石縣を經て樣子明り無いと云ふ峠の手前瀚家店に來た濛江迄は最早七十淸里よりしか無い所迄は別に何等の異なつた事も無く懸つたのは恰度十六日で其れ迄かつたが其處を過ぎると奉天兵の遣所があつて一個小隊ばかりの兵が我々の姿を見るなり銃を擬して取卷き姓名から旅行の用件及び持物まで嚴重に取調べたが別に怪しむべき點はないのであるから難なく通過を許され

支那家屋に一泊

して其夜は此峠上の支那家屋に一泊することゝなつたのである翌十七日は朝早く起き朝食は支那人の慣習通り午前十時頃にする豫定で此處を出發したが之れまでは廣々とした野原續きであつたが間もなく奉天、吉林の省境に[illegible]

街道からは密林

次第に濛々たる森林となり其高さも二三丈から五六丈に及び殊に濛江より開原に出る一大通路であるが其下に一丈より二丈にも達する雜木が晝尚暗いばかりに覆ひかぶさつて實に物凄いばかりであつた斯樣な街道を一行四名が辿りながら峠より約三十淸里も進んで來た時漸く鉢形になつた一の丘に出たが此處からは漸次下り坂となり其の最低地に一軒の支那宿があり其れより亦次第に坂路となつて一寸四邊より窺ふ事の出來ない馬賊の出るのに

最も屈竟の地形

であつた自分は何となく不氣味に思ひながらも地主等案內するまゝ此孤家で朝の食事を攝る事となり何氣なく屋內に這入つて見ると支那人の一人が炕の上で橫臥し他の一人は頻りに麥粉を捏ねて居る處であつた、

仁川拔荷問題

各地雜貨商間の問題

仁川の雜貨商其他關係者數十名は二十七日午後一時より仁川商業會議所に集合し稅關及び仁川驛の關係者其他運送店等の立會を求めて貨物拔取り問題に就て協議する筈なり元來

拔荷 は獨り仁川のみならず全鮮を通じての問題にして目下從來屢論議研究せられし處なるが近時又其被害の著しく增加し殆んど白晝の窃盜に等しき狀態となり來り一般荷主の受けつゝある打擊は實に意想外なりと云へば何等か之れが防遏手段を講ずるの必要あり仁川として拔荷場所に就ては何他にも

責任 を嫁すべきものゝみに非ずして倉庫內或は貨物ホームに於て現に窃取せられつゝあるが如き事實皆無と云ふべからず、それ等に就ては最も嚴密に調査研究を重ぬべき事情渉からずと云ふ此の拔き荷を敢行せらる、

場所 の如きは各々責任者の立場よりして或は非認せられ或は主張せられ其の局所を得るに容易ならざるものあれど仁川驛構內の如きは一般商人の觀て最も被害多き場所なりとせるが如く或ひは同構內に請願巡査の配置を希望せんとするが如き一般商人の意嚮なりと云ふ(仁川)

染料工業の成立

資本金百萬圓(新義州)

營口の寺尾德母氏が新義州に於て目下經營中なる建興公司染料工場及び安東縣六道溝に於て目下工事中なる染織工場を會社組織に變更する事は既報の通りなるが新義州、安東、營口等の發起人賛成人も既に決定し去る二十四日頃新義州府廳を經て其の筋へ許可の申請をなしたる筈なるが同會社は資本金を百萬圓とし內八千株は寺尾德母氏引受け殘り二千株、新義州安東にて七十株殘餘の二千株を一般の有志者より公募する事に內定せり發起人の氏名は左の十名なりと

寺尾德母、多田榮吉、松隈哲次、橋江金助、加藤鐵次郎、阿部國造、杉原佐一郎、高橋貞二、酒井仲治

新米豆(永川)

慶北河陽の豐康潤より新大米早神力十五叺十八日出廻りあり大邱曹商店にて石四十五圓にて御祝儀商內ありたるが品質乾燥調製等頗る良好なりき尙ほ同日永川郡新寧面金秘浩より新大豆十九叺出荷あり大邱光成商店と石二十四圓五十錢にて初取引行はれたるが之れ亦品質乾燥粒揃ひ共可良なり

◎蘇堤の南市(大田) 大田郡外南面蓮亭里及蘇堤里に虎疫患者發生したるより防疫の爲め郡廳にては開市の停止を爲したるが其後幸ひ蔓延せざるより去る二十四日の市日より開市せり

儲かる奧地の醫師

總て前金の上に患者は門前に市

支那富豪の重病を治して巨額の禮を貰つた日本醫師

不眠不休の多忙

イルクツク奧山醫院主奧山彌助氏の談片に曰く(哈爾賓)

イルクック邊の醫者の繁昌振りは實に大したもので、或る日の營業振りに就て經驗を述べて見ると一頃は醫員二人で朝の九時から夕方の四時頃から五時頃まではひつ切りなしに患者に襲擊されて殆ど休む暇も食飯を取る暇もない時もあつた、そんな時は患者に注射でもして置いた後でホンの一二分奧に引込んで牛乳を飲むと云ふ有樣此方が却つて健康を害した程であつた、それでは

診察料藥料悉く

前金だから手數も要らねば心配も要らぬ若し怪しげな人間でも來れば頓つからお前は金を持つてるのかと聞いた上で若し金を持たなければ斷るだけである若し西伯利で醫者を開業しやうと云ふ人があるなら先づ私が進言したいのは何分露西亞と云ふ所は殊にイルクック邊は實に男女間の風儀の惡い所であるが一番

多いのは花柳病

其次は婦人病と云ふ順序になつてるから若し花柳病婦人科專門の人が主になつて內科外科等同勢二人乃至三人位で一寸した病院を經營したら當る事疑ひなしである內地から持つて來るものは一寸した醫療器械だの衛生材料だので澤山である併し今日の所では貸家拂底の時だから

二ケ月は遊ぶ

つもりで覺悟してかゝる必要がある尙ほ哈爾賓に於ても技倆を有つた醫者は必要である又さう云ふ醫者なら一度支那人か露西亞人に愛されたら[illegible]

神の如くに尊敬

し信賴するのである此頃も哈爾賓の某醫師は或る支那富豪が三年越しの病氣を唯の三月で治してやつた處巨額の御禮と馬一頭を貰つたと云ふ事もある

▼桑で紙▲ 桑の皮にて優良紙を製する法を發見され蠶業の發展と共に副產物の利用大なるべしと

▼募集歌▲ 木浦の松島神社にては遷宮十年記念の爲和歌を募集す題は『社頭の松』締切十一月三日

▼雪一尺▲ 昨日より降雪一尺に及び農民は大喜びにて喜び居る由

▼小兒病▲ 大邱にては先般來小兒の百日咳流行せしが近時下火となりしも又々痲疹流行し始む

問題の看護婦

無免許四分の一 全鮮三百七十名の內

大邱一愛讀者として左の如き投書を大邱支局宛てに送つた人がある(大邱支局)

目下朝鮮に於ける看護婦會の數は釜山五ケ所、大田二ケ所、馬山一ケ所、大邱二ケ所、仁川一ケ所、京城五ケ所、木浦一ケ所、元山一ケ所、平壤二ケ所の合二十ケ所あつて又之に附屬する看護婦の名儀で患家へ派出するものが合計三百七十名居るが此內で眞正に看護婦の免狀を有する者は尠く僅九十六名といふ四分の一に過ぎない狀である殘る二百七十四名は免狀を有しない卽ち

無免狀の看護婦

である然れ共此の無免狀の看護婦と雖も看護婦と同樣の賃金を受けつゝあるソレが又看護婦會より患家や病院に派遣されつゝある附添ひ人といふ者が五百二十五名の多きに達して居る

是等は殆ど素人

である右の內で最も多數を有して居るのは京城の百九十名、釜山の百五十名、大邱の六十名、平壤の五十名で其他に於ても十人二十人三十人と各所共有して居る此看護婦會に於ては大正三年十月

總督府令を以て

看護婦規則施行公布當時は各經營者共多少規則を遵守して居りたるも之は殆んど束の間であつた其後今日に至る迄看護婦規則を遵守し來た者は皆無である

なぜなれば彼等

經營者は一般病家の要求に對し非看護婦を派遣し看護婦同樣の料金を請求し敢て憚らぬのである料金は云々せずとも罪も貰き人命を扱ふ看護婦が

無教育なる爲め

是れ迄失態を招きし事は枚に遑あらずであらうが赤附添ひ人に於て彼の或る病院に雇はれし附添ひ人の如きは一人にて患者三名乃至四名を引受け收入

一日三圓以上に

達すと云ふ彼等患者の事は念頭に置かず自己の利益にのみ汲々たるもの如し然るが故に免許を有する看護婦に於ては彼等モグリ看護婦と同視せられ

又賃金に於ては

彼等と遜色なき爲め朝鮮に在まるを好まず何も內地へ引上げつゝあり之れ皆看護婦會主の不正手段に基づくものなり故に斯の如き

不正會主に對し

て相當の取締をなすは刻下の急務にして又一般患家の福音であらう而して見習ひ看護婦や附添人に對しても

夫々等級を附し

人と雖も一見して區別の付く樣彼等に徽章を附せしめば何れの病家に於ても安心して雇ひ得る事であらうと信ずる

滿洲產の木炭

餘力を朝鮮等へ輸出

滿洲に於ける木炭の產額は近年大約五千萬斤にして今假りに百斤の價格を二圓とせば百萬圓に達する譯にて其產地は安奉沿線吉林附近及び東淸鐵道沿線にして

就中安奉沿線は

約三千萬斤の多額を產し南滿洲に於ける需要の大部分は該方面よりの供給を仰ぎつゝあり而して製炭材料は柞櫟其他の雜木にして炭質は頗る良好にて多く支那人の燃料として尤も其用に耐へず專らコークスの代用品として工業用に供せられ、殊に安奉沿線のものは

仲買日本商人の

指導に依り大いに品質改良せられたるを以て一般燃料として用せらるゝに適す生產者は悉く支那人にして毎年十月末結氷前に於て炭窯子を築き十一月より翌年三月迄五箇月間製炭に從事し

其方法は內地と

大差なく安奉沿線に於ける取引市場の主なるは本溪湖橋頭通遠堡等にして出廻り時期は十月より翌年四月迄を以て最盛とし滿洲に需要せらるゝ木炭は從來日本內地及び朝鮮方面より盛んに輸送せられしが近來內地炭價騰貴、船腹不足等の爲其數量漸減し

現今にては僅に

料理屋向蒸籠用等特種の方面に紀州式小丸の輸入せらるゝのみにて一般家庭用燃料として滿洲炭獨占の狀態を呈しつゝあり而して目下の販路として目下の處青島、朝鮮方面に少量の供給をなしつゝあるに止り未だ大いに發展するに至らずといふ(大連)

商況

株式

東京現株 至急電報

二十七日中値	掛込	時價
郵船	一〇〇・〇〇	一四〇、〇〇
同新	七五・〇〇	▲一三五、〇〇
東拓	五〇・〇〇	▲一一六、五〇
一新	三七・五〇	▲八七、五〇
二新	一二・五〇	氣配高し
鮮銀	一〇〇・〇〇	△九五、〇〇
東亞	一二・五〇	氣配高し

東京株式 至急電報

銘柄	二十七日第一立會	前電比較
東株	四〇六、一〇〇	一三、一〇〇高
同新	三八六、五〇〇	六、六〇〇高
滿鐵	一八一、五〇〇	五、六〇〇安
一新	一七七、〇〇〇	八、九〇〇高
二新	一三九、〇〇〇	五、五〇〇安

大阪株式 至急電報

本日未著

銘柄	二十五日後場大引	二十五日前場比較
大株	三八四、九〇〇	一三、八〇〇高
同新	三七〇、一〇〇	七、〇〇〇高
郵船	二四〇、九〇〇	三、一〇〇高
同新	二二九、五〇〇	一、三〇〇高
商船	一六一、四〇〇	四〇〇安
同新	一三八、九〇〇	一、八〇〇高
鐘紡	三九〇、二〇〇	五、四〇〇高
同新	三六九、〇〇〇	八、九〇〇高
東紡	二七六、〇〇〇	四、一〇〇高
東糖	一六八、五〇〇	六、四〇〇高
堂米	一七七、〇〇〇	一、五〇〇安
上取	九三、四〇〇	九、四〇〇高

京城現株 標準値段

▲印騰貴 △印下落

銘柄	拂込額	時價
仁取	一五・〇〇	一八三、五〇
朝郵	二五・〇〇	四二、〇〇
電興	二五・〇〇	一八、五〇
皮革	五〇・〇〇	二五、五〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇
朝紡	一二・五〇	二九、〇〇
製紙	一二・五〇	▲三七、〇〇
商銀	二五・〇〇	五六、五〇
同新	一二・五〇	一八、〇〇
滿毛	一二・五〇	五三、〇〇
滿糖	一七・五〇	四四、〇〇
朝煙	二〇・〇〇	三二、〇〇
鮮土	二五・〇〇	二一、五〇
東亞	一二・五〇	四五、五〇
華貴	一二・五〇	三三、五〇
仁倉	一二・五〇	一五、五〇
製粉	一二・五〇	一九、〇〇
朝日	一二・五〇	一四、五〇
朝絹	一二・五〇	二二、〇〇

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
朝鮮皮革	二五、五〇〇	五〇〇
朝鮮製紙	三七、五〇〇	九〇〇
東亞新	四五、五〇〇	三〇〇〇
東洋拓殖	一一三、〇〇〇	三〇〇
殖鐵權利	七、三〇〇	八〇〇
仁川取引	一八四、〇〇〇	一七〇〇
殖產銀行	一〇〇、〇〇〇	一五〇〇
大株新	三七七、〇〇〇	二〇〇
朝日釀造	一四、五〇〇	八〇〇
滿蒙毛織	五三、五〇〇	二〇〇〇
朝鮮紡織	二九、〇〇〇	二〇〇〇
安東信託	二〇、五〇〇	一〇〇〇
東京キャラコ	九三、〇〇〇	一〇〇
富士紡新	一五六、五〇〇	二〇〇
東洋畜產	一五、三〇〇	八〇〇
上海取引	九三、〇〇〇	一〇〇
日本水力	一五、二〇〇	一〇〇

常限の形勢

當限納會は目前に迫り來りあつて當市內頗る[illegible]最近の當限喰合高は大阪二十五萬千九百七十枚東京六十三萬四千二百四十枚ありて實際受渡が如何なる程度に迄行はるゝや不明なるも大阪東京のみにて七十萬乃至七十五萬枚に上るべきか疑ふべからず約一億圓に近き受渡金を要する譯なり以て來月大受渡を行ひ來れる場合は作に片付けるべきか否かは假に今月限は無事なりとして來月に至つては[illegible]

確實なる利殖法は確實なる現株に投資せらるゝに限る 弊商會は少額の御出資にて確實有利の御相談に應す

京城南大門通一ノ三二 ウ 浦長商會 電話長一七三七番 振替貯金口座京城[illegible] 受信略號ウラチヤウ

仁川仲町二丁目 電七六九 仁川支店

元山仲町 電二三〇番 元山支店

仁取一服姿

仁取株は總會の際株主側の挿込要望快く重役側の容るゝ處となり極力之れが實現に努力すべく聲明したる以來今にも實現すべく期待されたるも其後は杳として消息を絶ち實現の日の果して何日なるや見當付かざるより日曜明けの今朝は從來よりも値に高進む者も出でざる如く依然八十四圓臺を保合ひて[illegible]

東株反撥

東株は前來徹底的物價調節說に却へて低落を豫想し居たるが青株十四十錢が新六圓六十錢高と反撥したるは[illegible]再び四百圓臺を現はしたるは時節柄一寸皮肉の觀あり

朝紡遂に臺割

朝鮮紡織は內地に於ける新設會社の不況と紡機購入難等に其の操業豫定より遲延すべく[illegible]

朝紙依然堅調

朝鮮製紙は今期の業績良好と將來の增配說を傳へて氣配頗る高く今朝も依然高値三十八圓五十錢の商內ありたり

殖鐵權利動く

西鮮殖鐵株は目下現物組合に於いて五圓以上のプレミアムを唱へて買出中なるが早くも之れが權利を見込み一部に於ては寄付を見越し[illegible]成株の一部を割きて應募に充てさんとする者あり[illegible]を見るに至る同株なれば應募の申込者は到底割當來るべしとて之等資成株に買向ふ者相應に多きが如し

中鐵人氣良好

朝鮮中央鐵道新株公募は二十日締切となり未だ內地の應募數不明なるも朝鮮各地方の應募高は京城六十六萬六千二百、大邱二萬二千五百株、釜山四萬十五株の計七十三萬五千四百[illegible]

北濱だより

[illegible]

米況

東京期米特電

二十七日前場	寄付	四十三圓八十錢
當限	四十三圓八十錢	
中限	四十二圓[illegible]	

大阪期米特電

二十七日前場 當限寄付 四十五圓十一錢 中限寄付 四十三圓六十六錢

神戶期米特電

二十七日前場 寄付 四二、一〇一

仁川期米

二十七日前場 [illegible]

市場雜觀

[illegible]

下關米取引所仲買 桝谷米市

京城正米市場

過般來內地正米の安報を移せるに反し當地は高値より僅かに三四十丁方を引弛めたる迄にて彼我の値幅著しく擴大せし爲め移出商談全然不引合ひとなり眼先き內鮮何れよりも鞘寄せ來らんかとは一般に氣迷ひ居たる處なるが今朝の阪地入電は期米の爆發に伴ひ正米も上走りたりとか米が總じて定期の手に入らざりし爲め消費者側の手に入らざりし爲め正米市場の需給緩和上に反響なきのみか期待外れに却つて人氣を高めんとする傾向なれば眼先更に內地より鞘寄せ的に高報を[illegible]

仁川正米市場

白米腰弱し

肥料石灰精米石粉

大正石粉工業株式會社 京城本町二ノ九 電話三〇五〇番

河筋產地こん氣

粟大豆睨合

錫鉛引締まる

煙筒用鐵板昂騰

大阪竹原商店特約 東京山一合資會社特約 公債株式現物賣買 新田耕市商店 京城櫻井町一丁目 電一八八一・二三九〇

京城岡崎町 福岡精麥所 電話長貳六四

演藝案內 喜樂館 本町一丁目 電五九七番 良心の囁き 全六卷 水戶黃門と金藏 六卷

大正館 櫻井町 電話八七三 運命の神 全五卷 葵下阪 全七卷

浪花館 京城櫻井町 電話二六〇 桃中軒小富士丸 吉川秀山

大正館の罪謝 伊勢音頭油屋十人斬 古今葵下阪 妖劍 石井谷藏 懺悔談

良職業 帝國法律普及會

一店員採用 一記帳係數名 一倉庫係數名 一小僧數名 安盛商店 電話長一四二一番五八一二番

自動車 東京自動車學校 京城府黃金町

流行の冬衣 大島紬 全盛時代 桐生物元 大島紬 銘仙 縞銘仙

最も安心の出來る靴 松本高等靴製造所 東京本所三ノ橋

急告 新に生れた時季のお知らせ 公益社

[illegible]

伊達騒動

第四十一席 小金井芦洲講演

鐵之助見拔かる

或る日のこと相變らず安藝の邸に來ると植木屋が大層入りまして庭の手入れ、茶座敷が出來をいたしまして愈座敷開きをすると云ふ、庭の切戸口の方から鐵之助が入つて來ると安藝殿が庭前にお立出でになりまして彼方此方と手入れの濟んだ庭先を御覽になつて在つしやる、
鐵『今日は快晴を仕りまして
安『オヽ松前か、能く罷り越した
鐵『大層結構に御手入が相濟みまして、お目出度うぞんじます
安『イヤ最う、夫に就て鐵之助、鳥渡氣に入らぬのは此の春日燈籠だ、少し向を替たいと思ふんだが出入の人足共が最前引取つてしまつたので、差支て居る
鐵『アヽ、左樣でございますか、何う向を替ますんで
安『あれでは位置が違ふに由つてグルリと一向向ふへ廻さうとおもふ
鐵『仰せの如く其方が宜しうございます、鳥渡私が直しませう
安『コーレコレ、痴けたことを申すな、其方一人で却々此の燈籠が動くものでない、始終斯うと云ふものを扱ひ付けて力以外にコツと云ふものを以て動かす職人共でも七八人は掛る、其方が一人で動かせるものではない、
鐵『イエ、仰せではございますが、斯樣なものを動かすのは何でもございませぬ、鳥渡私が一人で直して御覽に入れます』着て居つた羽織を脱いで鐵之助、突然に燈籠に兩手を掛けたかと思ふと『ウム―ン』力が入りますと笠から火袋の重なつて居るま、グルリと動かした、宗重も其力には驚きました、第一顏の色をも變へない
安『アヽ大層なものだなア、其方の力量が斯程にあらうとは思はなかつた、人は見掛けに寄らぬものである』と是れからと云ふものは一層鐵之助々々と云つて贔屓になすつて入らつしやる、力量のあることは是れで知つたけれ共、然し心を勞するものは人を發ひ力を勞するものは人に發はる、力量があつたからと云つて決して偉い譯のものではない、人と云ふものは兎角好きな道には心を奪はれるもので大分酒が好きであるとのことでございますから、一度酒を遣はして見ようと云ふので御自分も呑み、向ふもウンと呑まして見ると、成る程澤山は呑むやうであるけれども少しも亂れない、學問のことに就て段々お尋ねになると何うして御勝手元などに詰めて居る料理方の如ではない、何でも問ふことに任して答へる、さりとて決して學問があると云ふやうな樣子は更に顏には見せない、是は鳥渡出來ないことで、愈々以て感心をいたした、竹刀を持たせて立ち會つて見ると劍術も武士一通は致しまする、其他槍術、弓術、柔術もやる、安藝も舌を卷いて驚いた
安『是れア足輕田中助左衛門の組下などに却々置くべき者でない、これで文に堅固ならば眞に鬼に金棒とも云ふべき大丈夫であると思召した、
安『鐵之助々々』と始終贔屓になされ、屋敷に出入を致して居る中に安藝の家來に進藤源五郎と云ふ者があります、其人の娘でお照、安藝の傍へ來ては小間使同樣に手許を働いて居る、お照が人知れず鐵之助に懸想をして小さき胸を焦して居るのを安藝宗重は苦勞人だから早くも悟つた、或る時照を傍近くお招きになりまして
安『コリヤ照、其方に今日はチト相尋ねたいことがあるが、此頃出入りを致す鐵之助に其方は懸想をいたして居るだらう
照『アレ御前樣、左樣なことはございませぬ』と顏に紅を散らして差俯向いた、
安『何もそんなに眞ッ赤になつて恥入ることはない、既に不義を働いたと云ふのではなし、兼々其方の父源吾衛門からいたして予に賴むには、どうか鑑識に叶ひました者がありましたらばお取持を願ひたいとの事であつた、唯今でこそ小給微祿の足輕であるけれども鐵之助は末來却々樂みのある男だ、予も彼は頭に取立て得させようと存じて居る、其方が懸想をいたしたものだと云ふのは眞に見上げたものだ』
照『ハイ、恐れ入りますでございます』

產科婦人科 京城壽町 電一二〇一 一二宮醫院 醫學士 二宮亮吉

京城明治町 電話貳三四〇 產科婦人科 中央婦人病院 院長 衣笠舜山

主婦の手帳から

◇卯の花バタいり◇ 卯の花は普通煮魚の殘り汁などにて煮たのが經濟でもあり又味もよいのです、かうして煮た中に細かく切つた葱や人參其他好みの野菜又はあさり等を入れて煮たものを鐵鍋にバタを溶し其中に以上の煮上がつた卯の花を入れていためますとさらツとして普通の卯の花とは別な味となります

◇淺草海苔のバタ揚げ◇ 淺草海苔を一寸か一寸五分角に鋏にて切り鍋にバタ少量(いためる位の量)を溶しその中に海苔を入れ直取り出し一旦それを洋紙の上にて油を切り温きうちに食す但しこの料理の注意を要するのはバタは少量宛入て揚げ且つ火力は文火でそして海苔のこげぬ適度を心得ねばなりません

十月廿九日

(舊)九月六日 水曜日▲きのへさる▲七赤 赤口▲翻西▲友引▲翌▲さたん

▼七赤▲反の合ぬこともある日也
▼八白▲目下の者より立てらるゝ日にて賑かな愉快な日なる可し
▼九紫▲兎角手違を生ずべき日
▼一白▲喜び事の降りかゝる如き日、萬事積極的行動に出て可
▼二黑▲賑やかなる花の如き日
▼三碧▲ちよつと合點の行ぬ日心持好からんも散財を防ぐべし
▼四綠▲纒りのつき易る日なり
▼五黄▲鷹揚なる日、目下より尊敬を受くべき日萬事進んで吉
▼六白▲幸福に邂逅すべき日此日は恐らく一日愉快なるべし

家庭欄

本欄には確實な談話に非らざれば絶對に紹介せず

秋の口の髪の手入れ方と髪油

(四谷荒木町) 白木屋こま談

□髪の手入方と髪油 妾に髪の手入方と髪油のお話をしろと被仰るんですか御承知の通り妾は遠慮は大嫌ひですから何もかも無遠慮に申上げますよ何うか其お積りで聽いて下さい まゝ髪は全く油次第で天性如何な美髪でも油が惡いと光澤がなくなり如何に巧妙に結上げても一向に榮ません加之髪は段々赤くなり縮れて始終結者とフケがたまつて痒く一種厭な惡臭を發し秋になりますと盛んに髪が脱けて仕方のないものであります近頃癖毛縮毛直しと稱して水に香水を入れて賣つてゐますが實に危險で全く眉唾物ですわ

□御婦人方の御心配遊ばす癖毛縮毛の直方 專門の先生方に聽きますと縮毛は天性だから九分九厘は癒らないと申してゐます縮毛は是非共治療が難しいのでムいます妾は係うして永年の間數妓家町に髪結をしてゐますので癖毛縮毛に就いては隨分苦心をして研究して見ました癖毛縮毛を直すには三日置位に髪を洗ひホーカー美髪液をツケ細かい梳櫛でお梳きになれば如何に頑固な癖毛縮毛でも忽ち見違へる樣な黒髪となつて終ひます他の髪油も隨分澤山に使つて見ましたが大抵日本のですホーカー美髪液は大島產の純椿油に美髪劑と香料を加へて製造した美髪料で誰が何んと被仰つても妾共髪結仲間では一番多く使つてゐますわ

□髪結の癖毛縮毛直しに理髪師の艶出し 如何にお頭が艶麗でも癖毛縮毛では仕方がありません矢張り房々とした黒髪は日本婦人の生命ですわ從つて近頃の髪結さんは大抵皆癖毛縮直しにホーカー美髪液を使ひますの髪油は大商店から賣出した信用のある物でないと實に危險です普通の方がホーカー美髪液をおツケになりますと一層艶を増しお顏を引立てます御婦人方計りではありません近頃は何處へ行つても理髪師は皆なホーカー美髪液を艶出に使つて被居います光澤を増すので刈方が粗略でも非常に刈榮がし上品だと云ふ事であります

□お子さん方の頭髪に蟲の湧いた時は 髪を石鹸で能く洗ひホーカー美髪液をおツケになり何度も繰返してゐる間に蟲は自然と居なくなつて終ひます加之ホーカー美髪液を毎日おつけになりますとフケや痒味を去り髪の粘姿を防ぎ産後チブス花柳病から起る脱け毛を止め實に芳香馥郁として全く頭が晴々します

□眉毛やヒゲを黒く濃く美しくするには 眉墨や如何はしいチック等をおツケになるよりも妾の實驗に依りますと矢張りホーカー美髪液が一番宜しうムいます眉墨を使つた所で決して眉毛やヒゲは濃くならず却つて摺切れて脱病患者の樣になつて了ひます指先にホーカー美髪液をおツケになり之を眉毛や鬚へ塗りハンケチでお拭き遊ばせば自然と濃く黒くなつて終ひます

□ホーカー美髪液の買方 ホーカー美髪液は全國到る處の化粧品店小間物店藥店等にありますが賣行きが盛んなので時として無い事があります若し品切の時は三錢切手代用又は振替で直接本舗へ御注文になれば直に進品致す事になつてゐます但し代金引換は料金が非常に高く御損故拒絶する事になつてゐます

定價特用大瓶四十五錢小瓶二十五錢 送料內地六錢

東京神田和泉橋 ホーカー本舗 堀越嘉太郎商店 電話神田一三四二・一四五 振替東京一一五六

小兒の青便は其日に治る 神功丸

小兒の疳蟲は一歲三歲五歲と殆ど連續的であるが是は小兒が非常に危險で何時死ぬか解らぬ事を現はす物である實に小兒癪病の十中九迄は消化不良が原因で殊に是からの陽氣の變り目が最も危險期故心ある母親は排便に注意し青便粘膜樣の便又は便がなくなつたり遠くなつたりした時或は乳を吐きし時は直に靈藥神功丸で其日に治癒せねばならぬ神功丸は一名瓢簞居藥と稱せられ江戸時代より數百年來將軍家は勿論全國諸大名の御殿に愛用を辱うした有名藥で高貴藥のみを配合して製造せる我國第一の小兒專門藥であるから子を持つ親は是非試みて其靈功を知られよ。▲定價廿錢、卅錢、五十錢、壹圓、貳圓、參圓▲送料一錢 東京京橋檜町 瓢簞居藥店 振替東京一八三八四 電話京橋二二七一

痔疾專門 京城明治町一丁目(本町より入る中央) 京城久枝肛門病院 電話二一〇番

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千六百貳拾萬圓 總預金 參億五千萬圓 株式會社 第一銀行京城支店 京城本町一丁目 振替貯金京城一一番 電話二三一・二八八・七番・五番 頭取 佐々木勇之助 支配人 竹村利三郎

陸軍御用 ツ 人參エキス 名支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候 尚一層御用の節は本店へ御注文願上候 朝鮮京城本町 津村兄弟商會 電話一四八〇番 一一八七〇番 振替京城三一五一一番 電略(ツ)又は(ツム)

内科 胃腸病科 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話二一三七 二九〇九番

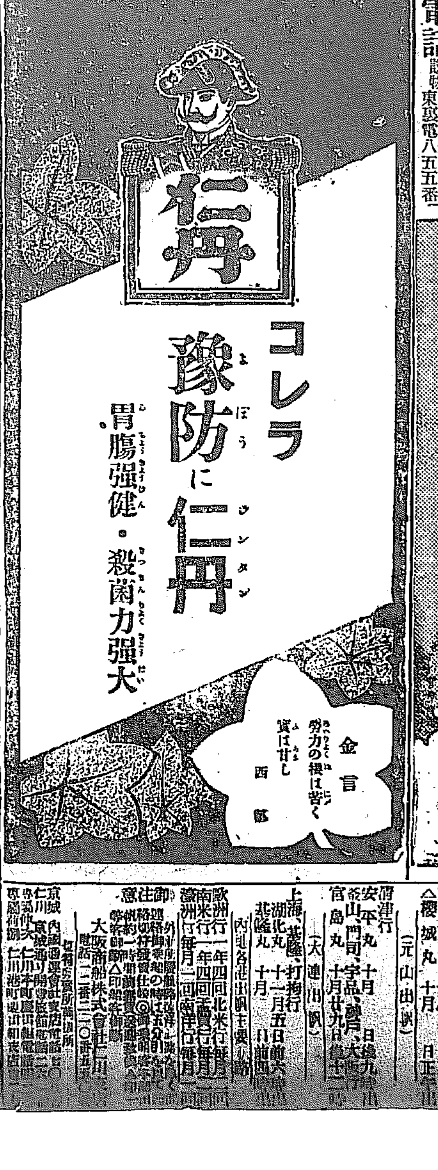
最新型 冬帽 新荷著
寛濶な中折 自二、五〇 至一四、〇〇
上品な中山 自四、五〇 至一四、〇〇
洒落な中折 自二、五〇 至四、八〇
輕快な鳥打 自一、〇〇 至六、〇〇
地方の御注文は必ず名稱色合大さ等漏れなく御指示被下度候送料一ケに付十八錢 京城太平通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

看板はフシノ工舍 サツポロビール專賣 工所京城本町三丁目 電話七三一番

株式會社 中村組平壤支店 金物鋼油石炭煉炭材木青竹セメント、土管、耐火赤煉瓦、各種長水院無煙炭 平壤本町 電話長五〇一番四四一
株式會社 中村組鐵工所 水道鉛鐵管並に水道用器具、諸機械製作並に修理、鐵管架構工事一式 平壤柳町 電話長六〇三
株式會社 中村組煉瓦製造所 耐火煉瓦、赤煉瓦、各種土管、シヤモツト 平壤橋口町 電話長一二五

◇電話 讀物 本町二丁目本商店 東寒電八五五番

ゲンノショウコエキス 藥價 廿五錢 四十錢 六十錢 一圓 京城岩下町(新道路) 本舗 東洋藥房 電話三一一八番 振替京城二四一番



赤玉ポートワイン 七博士推奨の 美味滋養 葡萄酒

諸君!! 健康は空論にして得べからず 赤玉を常用して初めて徹底す

大阪商船出帆
(仁川出帆)
×木浦、大阪行 信濃川丸 十月 日正午出
×群山、大阪行 安東丸 十月 日正午出
△櫻城丸 十月 日正午出
(元山出帆)
浦津行 安平丸 十月 日後九時出
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 十月廿九日午後十二時
(大連出帆)
上海、基隆、打狗行 湖北丸 十一月五日前六時 基隆丸 十月 日前四時出
內地各港出帆表は要求次第
歐洲行 一年四回 北米行 每月二回
南米行 一年四回 孟買行 每月二回
濠洲行 每月一回 南洋行 每月一回
御注意 外國行旅客の御便宜の爲め御乘船の時は五分前に
大阪商船株式會社仁川支店 電話二一〇番

(一) 第四千三百三十七號 （火曜日） THE KEIJO NIPPO 大正八年十月二十八日 （明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）

京城日報 第五版

……じたるが斯の如く莫大なる入超……輸入額及其增加額左の如し（單位圓）……を惹起したる原因を考察するに大體（一）輸入增加の度著しき

品名 輸入 一月以降累計額 前年同期に比し……十餘萬圓の……

即ち以上數種のみにても之を前期に比すれば一億七千九百……は數量の增加より寧ろ價格の騰貴……貨（ニ）ゴムは國內ゴム工業の發……激增したり之に反し……達（ホ）石油は內地產油額減少……面を觀察すれば僅に增加を見……少を來せるものなれば其數量に……比し逆に輸入價格の騰貴の甚だしき今……易の不振等もあり遂に二億餘……圓の入超を招致したるものなる……が尙先行本年度貿易の大勢を案……ざる今日如何に輸出增加するこ……は云へ二億以上の入超を恢復す……る事は甚だ至難なるべく若し現……

歐洲戰亂に於ける我海軍の作戰行動（十）

鎭海要港部參謀 矢持大尉講演

間もなく大正四年二月新嘉坡で印度兵の暴動勃發するや第三艦隊の對馬、音羽から陸戰隊を揚げて鎭靜に努め、次いで大正五年二月以後第三艦隊の行動區域は更に擴張せられ錫蘭島以東迄に及んだ。當時英國は陸兵の補充に頗る苦心をして居たので濠洲で募集した兵隊は四週間の訓練で直ちに歐洲へ送られて居た。だから訓練と云つても間だるつこい事はして居られない、新兵が入營すると二週間位で一通りの教育をして仕舞ひ後の二週間は射撃の練習ばかりやらせて居た。夫で是等の兵隊が戰場で負傷すると、重傷者は歐洲で病院に入れるとか、轉地療養させるとかして手厚く看護し、輕傷者は治療した上は莫大の手當金を與へて濠洲へ歸還させることにした。此の方法は人民に對して入隊を勸誘する上に於て頗る有効であつたと見ゑて募兵は意外に好成績を示した。斯んなにして戰場に送られた兵隊の中には戰線の中から故意と手を擧げる敵は忽ちパリ／＼と射撃するので手に負傷する、そこで最初の約束に依つて澤山の金を貰つて歸る者もあつたさうである。印度洋も漸く敵艦の出沒がなくなつたと云ふので安心して居ると大正六年二月南阿ケープタウン沖で英國汽船が二隻觸雷にかゝつて爆沈し、續いて錫蘭島の古倫母沖でも同樣の出來事があり其の後古倫母や孟買の沖でも機雷が發見せられた。よく調べて見ると敵の假裝巡洋艦が印度洋に入り込んで居ることが判つた是れより先帝國海軍では英國海軍と協同して此方面の勢力を增大する必要を感じ大正六年二月七日第一特務艦隊は支那海から印度洋方面を受持つこととなり其の中の對馬新高の二艦は遠く南阿方面の警戒に赴いた。更に同年四月筑摩及び平戸より成る第三特務艦隊は濠洲東岸に派遣せられ同方面から新西蘭方面を警戒して敵の通商破壞戰に對應し、其の後第一特務艦隊と第三特務艦隊と合併して一隊となり爾來新嘉坡を根據として支那から東は濠西蘭、西は南阿東岸迄を警戒した。

●地中海方面 獨逸の通商破壞戰が猛烈になつた時英國から更に交涉があつて、もう一歩進んで地中海方面も援助して貰ひ度いと云ふので、大正六年二月明石及び第十、第十一兩驅逐隊より成る第二特務艦隊を地中海に派遣せられ、後第十五驅逐隊も增遣せられた。是等は彼のモルタ島を根據として協同作戰に從事し初めの間はモルタから東の地中海の半分を受け持つて居たが、其後伊太利や佛蘭西の艦隊で封鎖して居る墺匈國の軍港其の他を除く外全部を擔任する事となり、英國の驅逐艦二隻、特務船二隻は特に帝國海軍の將卒を以て運用して居た。橄欖、栴檀、西京、東京など、新しい船の名前が傳へられたのが即ち夫れである。茲に於て第二特務艦隊の行動は西はジブラルターより東はポートサイドに至り、北は佛蘭西伊太利の諸港から南は阿弗利加沿岸に及び殆んど地中海の全部に亘り、我が驅逐艦は或は單獨或は編隊で與國運送船の護送を行ひ、殆ど間斷なく各種の任務に就き一箇月に二十七回二萬哩の護送をしたこともある程で以て、其の如何に奮戰苦鬪したかが推察せられるであらう

生別死別

＝（不許無斷興行）＝

服部硯月

第卅一 外科室

大學病院外科の外來室に十一二の男の子を伴れて、診察の順番を待つてゐる四十恰好の婦人がある。

『オイ君！君の番だよ』

一人の學生が他の學生を顧みて云つた。

『よし、あの奥さん貴女がお惡いのですか』

『いゝえ此子が少し診て頂き度いのです』

『さうですか、何處がお惡いのですか』

『十日計り前から少し腫物が出來まして……』

『一寸お診せ下さい』

學生は局所を瞥見した。そして既往症を聞き取り出した。

『お父さんはお丈夫ですか』

婦人は一寸顏を赭らめた。併し學生の氣に留まる程ではなかつた。

『はい、三月計り前に歿くなりました』

『どう云ふ御病氣で？』

問はれた婦人の顏には少から憂愁の色が現はれた。

『あの腸胃も長らく痛めて居りましたが、急に心臟麻痺で…』

學生は聞くが儘を書き付けてゐる。

『これから母さん、お母さんで』

『はい左樣で御座います』

學生は心ありげに婦人を見廻した。

『お子達の御兄弟は？』

『姉が一人居ります』

『お達者ですか』

『はい丈夫で居ります』

『他にお小さい時にでも歿くなられたお方はありませんか』

『いゝえ、御座いません。』

『で、坊ちやんの從來はどんな具合でしたらうか、何か御病氣に罹られた事はありませんか』

『乳を飲んでゐた頃には能く熱を出して居りましたが其後は至つて丈夫に育ちました』

『坊ちやんのお祖父さんお祖母さんはお幾歲ですか、又死なれた方があれば何病でしたか』

『父方の祖父は七十一で卒中で歿くなり祖母は早く歿くなつたさうで幾歲位でしたか能く存じません』

『御病氣は何でしたかお別りになりますまいか』

『何でも產後の經過が好くなかつたやうに聞いて居ります』

『貴女の御兩親は？』

『父は七十五で肝臟病で歿くなり母は六十九で猶存命して居ります』

『で其の……叔父さんとか叔母さんとか、御親類中に萬一惡い病氣で歿くなられたお方でも御座いませんか、斯う云ふ事を伺ひますのは誠に何んですが……診斷の參考になるし又將來の治療方針も定まると云ふものですから……』

『一向聞き及びません』

『さうですか、宜しう御座います。夫から一寸聞き洩しましたが、御職業は？』

『……………』

『あの御主人の御職業で宜しう御座います』

婦人は幾度か躊躇うて

『あの何も致して居りません』

聞ゆるか聞ゆぬ位の聲で應へた。

『暫くお待ち下さい、今先生が御診察になりますから』

學生は病床日記の記註を終り教授の傍の診臺の上に置いた。教授は日誌を一讀して患者を前に招いで診察した。附き添ひの婦人に二三の質問を發して側にゐる助手に處方を云ふて筆記させた。

婦人は何だか打沈んで病症を尋ぬる氣力もないらしい、無言で與へられた處方箋を受け取り子供を連れて診察所を引下つた

話の世界

十一月號（一部稅共參拾壹錢）東京神田南神保三 振東京壹壹參九一 日新閣

獸が人間に變つた話 理學博士 谷澤直秀

女兵士の一生（牛の兵團の指揮官） 大泉黑石

怪女（田鶴濱の秋祭の怪女、三河の川姬、越中泉入兵衞の娘） 水野葉舟

村の怪談（土佐の鄕士のえん、天神甚の怪談） 田中貢太郎

ブランドルの基督（バルザックの短篇） 福士幸次郎

山の墓地（山中の小學校に教鞭を執つた時の出來事） 中澤靜雄

■イヴ 孤獨生活 湯の宿…探湯圖 寬永錢の話 ■名留二錢…南海豚を食ふ記…歌吉 加波山の激擧…諒一 ■幽靈の村長と山を步いた話

□奇異な結婚 日野三郎 ○短歌俳句俚謠川柳等募集

學生募集 京城自動車講習所

本講習所ハ京畿道知事認可ニシテ東洋一トシテ著名ナル東京自動車學校之ヲ監督シ本校ト同ク自動車運轉手▲技師▼販賣員其他世界的ニ自動車業務ニ從事スルニ必要ナル學術技術ヲ授ク

▲規則 專科●普通科●校外生科ノ三科ヲ設ケ專科ハ毎月十五日新學期ヲ開始シ二ケ月卒業トス入學ハ……

注意 右ノ學資金ハ內地ニ遊學スル旅費ヲ……

京城府黃金町三丁目角 振替口座京城七一八八番 電話長二〇六〇番

繪入 妊娠より育兒まで

熱狂的の歡迎を受け第十一版旬日ならずして賣切 十二版 出來

妊娠するか？ 子が生れるか？ 良く育つか？

福田醫學士外二大家著 四六判上製三百餘頁 定價一圓廿錢 送料共 東京神田區仲猿樂町 振替東京二四一九七 開文社

全國株式思惑者の機關雜誌 株式世界

第八十九號 每月二回發行 十日廿五日

定價一部十五錢 半年分 半年以上はハガキ申込次第送本集金

發行所 東京下谷清水町一 經濟雜誌 株式世界社 電話下谷五九八一 振替三四五〇七番

發明世界

每號有利有益 一攫千金の新發明を滿載し新發明の無盡の寶庫を開放して親愛なる讀者諸君を待つ 新智識を獲得して巨利を博せんと欲する人々は速に此必讀の好機關を座右に備へよ

毎月二回發行 一年分前金壹圓（郵稅共） 東京上野池端茅町 合資會社 發明世界社 電下谷二〇三五 振替東京七二二一

料理の友

代用食獎勵號 十一月號 出來 美麗極彩色密畫書寫眞版數多挿入

衞生博覽會審査 佐伯醫學博士 新研究 手から 內職へ 子供の齒 七五三祝の獻立 懷石料理 四品家庭洋食 茶碗蒸し パン 節米

一冊廿八錢 ハガキで御注文次第送本 代金は三ヶ月分前金 電話高輪一六九一 大日本料理研究會

前京城覆審法院判事 辯護士 法學士 切山篤太郎

京城黃金町一丁目一五九番地（三井物產株式會社向側）電話長一八六九番

▼汽罐 コールニユン

徑五尺五寸長拾貳尺 水壓百八拾磅度 中古品壹基

徑四尺五寸長拾五尺 參吋半パイプ五拾本 中古品貳基

徑四尺五寸長拾五尺 參吋半パイプ參拾八本 水壓百五拾磅度 新品壹基

徑參尺五寸長拾五尺 參吋半パイプ貳拾九本 水壓貳百磅度 新品壹基

電力モーター 三馬力以上五拾馬力迄

精米機 アイテール ベルト革シャフト メタル 喞筒 車輪

京城南大門外 中根商會 電話（一〇〇四 一〇〇五）番

加越能鄕友會

秋季總會及家族會を左記の如く開會す御家族御同伴御出席ありたし但し出席者は最寄幹事より會券を御買求めを乞ふ

一日時 十月三十一日（天長節）午前十時

二場所 南山本願寺

三會費 金壹圓（家族は徵收せず）

四餘興 茶番狂言琵琶浪花節

五模擬店 會員寄贈 種々準備あり

太平通一ノ二九京城通信社內 加越能鄕友會事務所 電話八七五番

第二回豫約募集 漱石全集

內容見本進呈

御注意（御手數ながら五時間の手間を省く爲め）

一、見本の御請求は一切端書又は電話にて願ひたし。

二、見本御請求の端書には內容見本四字を大書し其他の文字は一切省略されたし。

三、住所姓名は端書の裏面に必ず楷書にて御明記下されたし。

四、郵券封入の要なければ封書にて見本請求は見合はせられたし。

五、見本御請求の端書には他の用件は御遠慮下されたし。

謹告

先に一時拂三十三圓五十錢にて豫約せし漱石全集は古本の時價五六十圓に騰り每月拂一册三圓にて豫約せしもの古本としてたま／＼市に分賣せらるゝや實に六圓を突破するものあり。之れ本全集の眞價を語る無言の一大雄辯にして本會が第二回募集の責務を痛感し之を企圖せし所以なり。第二回を發表して未だ幾何ならざるに申込殺到し來る。本會は益責任の重きを感じ紙質印刷裝幀製本等すべて第一回にまさるとも斷じて劣る事なきを期し以て江湖の熱切なる期待に報ゆるに最善の努力を致さんとす大方の諸賢冀くは速に申込あらんことを。

第一卷 吾輩は猫である
第二卷 短篇小說集
第三卷 虞美人草 坑夫
第四卷 三四郎 それから 門
第五卷 彼岸過迄 行人
第六卷 心 道草
第七卷 明暗
第八卷 文學論 文學評論
第九卷 小品 評論 雜篇
第十卷 初期の文章 詩歌俳句
第十一卷 日記及斷片
第十二卷 書簡集
第十三卷 續書簡集
（全十三册）

申込期限 十月三十一日

體裁 菊版全十三册各卷平均八百四十七頁總頁數壹萬壹千拾六頁 裝幀は故先生の意匠に依る天金總ボプリン製表紙は木版朱色手摺 用紙 三菱製紙 白菱 印刷 東京築地活版所

略規 非賣品（豫約者のみに頒つものにして豫約外に販賣せず又還撰豫約の求めに應ぜず） 申込金 三圓（此申込金は最終の會費に繰入る） 會費 每月拂四圓 一時拂四拾八圓五十錢 送料（一册東京市內六錢 內地十一錢 鮮滿十五錢 臺灣四十錢 外國七十錢） 刊行 來る十二月より每月一册宛十三ヶ月

申込所 東京市神田區南神保町 電話本局一一四〇番 振替東京三八一五一番 岩波書店 / 東京市日本橋區通四丁目 電話本局五一一番 振替東京二六一七番 春陽堂 / 東京市日本橋區通一丁目 電話本局四一四番 振替東京二三八番 大倉書店

豫約元 東京市神田區南神保町 電話本局一一四〇・三六八八番 振替東京三八一五一番 岩波書店內 漱石全集刊行會

講和 條約御批准
樞密院に於て可決後 原首相より御裁可奏請

廿七日午前九時より宮中東溜間にて臨時樞密院會議を開き山縣議長清浦副議長以下各顧問官二十二名、書記官長以下各書記官政府側よりは原首相以下各大臣横田法制局長官他〓係諸官列席し

聖上陛下には側近奉仕諸官を隨へ一同最敬禮裡に正面玉座に豪御あり總て山縣議長開會を宣し豫て精査委員會にて慎重審議せる講和條約全文批准奏請の件を附議し先づ清浦委員長より既往十六回開會審議せる委員會の經過結果を報告し後會議に移り首相より大體說明し外相陸海軍兩相其他關係諸官より夫々詳細說明するところありたるが右は豫て委員會にて

充分精査を遂し當局間の了解ありたる事とて別段異議無く滿場一致原案即ち委員會審查通り可決し茲に山縣議長より議事終了の奏上を聽召され陛下には參列諸員最敬禮中に入御遊ばされたるが議長より直に議案を內閣に移牒し首相は上奏御裁可を仰ぎ成可く速かに批准奏請の手續を爲す可く正文は御裁可あり次第多分官報號外にて公布さる可しと

御批准奏請
政府は二十七日樞密院會議散會後直ちに閣議を開きたる上原首相參內樞府可決の講和條約に御裁可御批准を奏請し陛下御嘉納即日御批准あらせられたりと拜承す

午餐下賜
畏き邊にては二十七日臨時樞密院會議列席の山縣議長以下關係諸官に對し午餐を下賜せられたり（東京特電）

米獨植民地拋棄
米國上院外交委員會は保留案を可決したるが此の案に依れば米國は獨逸植民地の如何なる部分と雖も總て拋棄するものなり（華盛頓電報）

批准形勢樂觀
政府側の諸新聞に依れば講和條約批准の形勢は樂觀的なり紐育ウオールド華盛頓特電に曰く講和條約論戰の山は見ゑたりジョンソン修正案其他の修正案の否決は唯其時日の問題のみ而して疑義の保留に對する論戰行はるべしと民主黨領袖ヒッチコック氏は曰く條約は現在のまゝにて批准するに賛成する上院議員四十名あり而して保留附條約批准を主張するもの三十名あり必要事は是等二派の合同を成就するにあり而して此の仕事に成功すべしと之に反し反對派のトリビユン紙特派員報によれば十四の保留案は今週上院外交委員會に依つて承認せらるべしとロッヂ氏は曰く四十九名の委員は保留賛成投票を爲し以て平和安全主權及び獨立を擁護すべく之が委員の目的の一は講和條約を米國化せしむるに有りと（紐育電報）

英外相 樞府議長新任
カーゾン卿は外務大臣に任命されバルフォーア氏はカーゾン卿の後を襲ひて樞密院議長に任命されたり（倫敦電報）

形勢定る
ユ軍露都進入觀測

倫敦無線電信＝講和會議はユーデニッチ軍のペトログラード進入に關する報道に就き今尚確報に接せず且最近三日間軍事上の形勢に關し消息に接し居らず講和會議筋にてはあらゆる種類の風說流布され居れるも何等確實なる報道且つ外交社會の通信すら何等正確なる報告を齎すに至らず軍事當局は初戰ひつゝある彼等兩軍の形勢を觀察し次の如き結論に達したり ペトログラードは過激派軍の手を放れたる旨の報道が既成の事實にあらずとするも茲三四日間の内に確實となるべしユーデニッチ軍は同地に近接せる地域を包圍し以て赤衛軍の退路を遮斷するが如き行動に出たり同將軍はペトログラードの南西ガッチナ、クラスノエセロを占領するに止らず同時にペトログラードと莫斯科間鐵道のトスナ接合點をも占領せりペトログラードは是等の關鍵なるを以つてこの陷落は重大なる意義を有す以上は軍事專門家等に依つて概括されたる所なり（廿二日巴里電報）

トロツキー 赤衛軍援助 莫斯科形勢危險
トロツキーは莫斯科の形勢甚だ危險なりと明言し居れり過激派軍はペトログラードの極端防禦線なるバルヴオに退却したるが更に退却を重ぬるに於ては戰鬪は市内に移さるべし又トロツキーは目下赤衛軍を援けつゝありこれに力を得し赤衛軍は陣容を盛り直したるも敵はペトログラードより近々一日の行程に迫り居れば要塞の工事を繼續しつゝ又市の防禦も整へざる可からずと（ストックホルム電報）

西班牙 皇帝巴里御著
西班牙皇帝二十日巴里御著大歡迎を受けたり（巴里電報）

靳總理同意案
靳雲鵬氏は廿六日參衆兩院議員を招待し意思疏通を計りたる結果良好ならば徐總統は一先づ靳總理のみの同意案を來週火曜日に提出す可く爾餘の閣員は靳總理同意案通過後提出す可く閣員中目下最も人選困難なるは內務の椅子なり（北京電報）

總統 直接交涉同意
山東問題に關し徐總統は內心日支直接交涉に賛成し居るも輿論の反抗を怖れ明言を憚り居れりと傳へらる（東京特電）

外蒙古歸順問題
外蒙古歸順に就き喇嘛僧間多少の紛議を生じ居れるが政府は內蒙古關係官吏に命じ種々懷柔策を試み同時に外蒙古に關する優待條件六十四箇條を起草中なるが外蒙古部內には此際喇嘛協約を取消す可しとの議論多し（北京特電）

陸代表歸國延期
陸徵祥氏の歸國は汽船の都合に依り十一月二十日巴里發に延期されたり從つて山東問題に關する支那政府の方針決定も延期さる（北京特電）

張督軍彈劾案議決
在漢口湖南人は大會を開き督軍張繼堯氏彈劾案を決議し北京に電告せり（北京電報）

柳本氏陳述書發表
柳本卯平氏は陳述書を發表し余が政府の代表者なりとの報道は無根なり余は勞働者の目的と理想とを果さん爲予の力の及ぶ限り盡力す可しと述べたり（香港電報）

樞密院顧問官
本日左記任命ありたり（東京特電）

宮中顧問官 平山成信
任樞密院顧問官
子爵 平田東助
宮內省御用係被仰付
特賜親任官待遇

總監兩相訪問
水野政務總監は二十六日早朝床次內相を訪ひ更に原首相を私邸に訪問しそれぞれ朝鮮の近況に就き報告せり（東京特電）

近藤男歸朝
近藤廉平男松井松葉氏等二十七…

笹尾大佐遺骨東京に到着
[illegible]

大阪株式（至急電報）
二十七日 [illegible]

鐘紡	三八九、一〇〇	[illegible]
同新	三六九、四〇〇	[illegible]
東紡	二七九、〇〇〇	[illegible]
東新	一六七、九〇〇	[illegible]

途に二二…
大阪の爆發を…當市場に…軟派の壓…より仲買…不自然の…

寄付三錢ご一歩下押せしが八十…追證の强敵ある…先九十八錢より鮮…

森鐵增資
二千萬圓許可 年內に創立乎
資本金一千萬圓を以て發に許可されたる朝鮮森林鐵道は資本金增額の必要ありとし過般津田鍛雄氏發起人總代となり總督府に二千萬圓に增資を行ひたき旨申請中なりしが二十七日齋藤總督の決裁を經たるにつき許可の指令は兩三日中津田氏に交附さる可し

創立期
森林鐵道增資の許可は前項の如きが右につき今後進捗如何を聞くに在東京發起人大川平三郎氏等に於て株式の割當公募その他の一切の準備を整へ居る由につき右許可の內示と共に直ちに創立事務の進行を期す可く結局年內に公募（二萬株）を了し明年匆々創立總會を開會する事となる模樣なり

葉莨仲買危機 專賣實施の際の賠償如何
朝鮮に於ける專賣の實施は明年度より實施せらる、事に內定したらしい最近專賣令の實施が濃厚となつて來てから多くの

葉煙草仲買 人が葉莨の產地に侵入し、價格の如何を顧みず、葉莨の買ひ煽りをやつてゐるため、朝鮮內の製莨業者や善良な葉莨輸出業者等の迷惑不利は大方ならぬのであるさて何故に採算の出來ぬ滅法な價格を以て彼等買占めを爲すのであるかと云ふに之れは內地に於ける專賣法實施の際甘い汁を吸ふた手合が朝鮮でも一攫千金的利潤を得んとする目論見に外ならぬやうである朝鮮に於いても內地のやうに甘い調子に行くかどうかは法令發布の上ならでは判然せざるも、我々の考へでは

專賣令實施 の際に政府が果して前述の如き賠償を爲すかどうかは問題である元來朝鮮に生產する葉煙草は販賣用四百萬貫自家用百萬貫合計五百萬貫近くに達するが其中鮮內の製造原料に約百萬貫輸出が二十五萬貫內外と見積る事が出來るので殘りは全部喫用や荒刻となつて內に殘留するのだから專賣令實施の際には多量の持越品が有ると云ふ事となる然し乍ら政府が之を全部賠償するかどうかは甚だ疑問である若不必要なる物迄も全部賠償すると云ふ事になれば價格の廉價なる支那滿洲方面より葉莨の輸入を企て政府に夫れを掴ませんとするブローカー連もないでもない斯樣な事になつて來たならば大變ではないか、そこで政府は又之が豫防策を講じ此等奸商連の奇策に對抗せねばならぬ政府の唯一武器は即ち『本令（專賣令）實施の際に持越の葉莨に對しては本令を適用せず』と云ふ一刀

兩斷の處置 に出で此の多量の持越品に對しては自由販賣を爲さしむる事であらう若し政府に於て專賣令の附則に之が規定を缺く樣な事があれば特に之を附加制定せられむ事を希望するのである然らざれば奇利を占めむとする思惑買連中も大なる危險の伴なふ事を知らねばならぬ斯樣の事情を知り居て大いに戒飭を要する時機ではあるまいか又耕作者に於ても斯る奸商の誘惑に惑はされ將來葉莨の素地を破壞するが如きは心ある者ではあるまいか研究考慮を要する重大事ではあるまいか（某消息通談）

通貨問題解決急務 留の暴落＝物資の大缺乏 ＝草間新任駐露財務官談
新任露國駐在財務官草間秀雄氏は赴任の途來城せるが其の談に曰く

オムスクに 駐在するも目下オムスク政府が列國の承認する所となり其の基礎確立する時期に到達せば余も之と交涉することもなるべきならんも目下の所同政府の狀態にては承認を求めん端緒だに得難き有樣なるを以て余は暫らく西伯利北滿一帶の經濟的中心地たる哈爾賓に駐箚することゝなるべし露國の經濟狀況其他に關しては豫備智識を得べく研鑽をなし居るも時々刻々に變轉する同國の經濟狀態は應接に遑なきを以て豫備智識必ずしも有効ならず此の場合所謂百聞一見に如かざるものあらん要するに露國に於ては物資の缺乏を痛感し一方吾

阪神方面の 商人は物資の供給をなさん事を望み居るに拘らず其の需給の實現を見ざるは全く留の暴落あればなりさりとて物々交換も諸種の關係より困難にして其爲替決濟もなし難く從つて上貿行を見難く斯て露國は益々物資の缺乏を感じ留は益々暴落するに至るべきを以て先づ通貨問題の解決を見るは一日も忽せにすべからざる目今の急務なるべくそれには過激派の既に

其の勢力を 失せる今日列國の經濟的援助を要するならん唯今後反過激派一派の結束如何は問題なれども其は外交官の論ずべき問題にして余等の多く言ふべき範圍にあらざるべし

海軍大演習ご中華武官
中華民國海軍中將上將銜嚴威、海軍少將軍務部長陳恩燾、海軍上校海軍部副官陳復濂、海軍上校建安艦長許建廷、造船大尉〓組瞥の五氏は二十八日東京灣内に於て行はせらるべき觀艦式陪觀の爲め去る二十一日北京を出發渡日の途に就けり、北京駐在武官杉坂海軍少佐は之が接伴役として隨行せるが同一行は二十六日午後零時過ぎ著京の豫定なりと、右に就き小林副官は語る『陸軍に於ては演習の都度中華武官の陪觀するものあるも海軍に於ては今回を以て嚆矢とす海軍當局に於ても將來に於ける日華兩國海軍の提携融和を圖らんため支那通を以て聞ゆる吉田少將始め藤吉、梅田、洪一諸少佐及び不肖等をして之れが接伴役を仰つけられたり依つて不肖等も將來に於ける兩國親善の助けにもと大いに之れに對して意を盡す考へなり、即ち觀艦式は勿論其他東京橫須賀吳阪神長崎海軍兵學校同大學校より八幡製鐵所等海軍並に軍事工業等の視察に就ては出來得る限り便宜を計るべく又海軍相始め軍令部長陸軍外相等も之れが爲めに盛大なる饗宴を催すべく準備中なるが同一行は或は來月七日頃迄滯在すべし（東京支局）

滿洲粟輸入量
鮮銀調査に依る本年初頭より九月迄に京畿道內に輸移入せる滿洲粟の數量は七十五萬二千三百六十九石にして中滿洲より直輸入せるもの五十六萬五千四百十三石他道より移入せるもの十八萬七千餘石其他大豆等の雜穀類は直輸入及他道移入を合せ七萬七千餘石なりと

哈爾賓財況
段落を告げ
運輸順調に依る客月哈爾賓金融狀況に就き聞くに東清鐵道從業員同盟罷業も上旬は貨車の供給に復せるも上旬は貨車哈爾賓驛に停頓し沿線の配車を見ず從て地方向輸送に便にして南行輸出に不利なりしも輸入亦稍復旧し奧地買付なく當市場閑散を極め西伯利紙幣の安値にて僅に當用口の手合地場商人間に行はるゝに過ぎざりき丈尺布の如き長春に於て一疋七圓二十五錢見當にて盛んに賣行きあるに拘らず當地六圓七十錢の下値なるは頗る奇現象にて而も賣行き捗々しからず如何に支那人買氣沮滯せるかと逆輸送亦運輸關係の至難なるやを諒知するに足る輸出は十日頃より南行七八十噸の配給ありしも莫大なる當市場の

輸出界に活氣 を呈す
に至らず依然輸送難に苦しめり隨つて大豆現物相場一月十七留三十六哥十日十六留八十哥三十日十八留六十哥なるに乘物相場一日三十四留十日三十留三十日三十九留の高値を唱へたり露貨は月初め二、三〇〇に初まり漸く百丁二百丁の間を高下せるも月末に至り中秋支那經濟逼迫を見越し金票の需要を喚起し二、七〇〇見當に崩落せり

仁取決算案
十九日の株主總會にて議決を經たる仁川米豆取引所の當期決算は直ちに當局の許可を申請せしが二十五日京畿道廳より本府に申達したる由につき結局その許可の指令も近からんと

高師試驗終了
市內永樂町研究會に於て施行中なりし總督府委託東京高等師範學校入學試驗は二十六日を以て終了したるが今回の受驗者は文科二名理科一名計三名なりと

金泉の祝賀會
慶尚北道金泉の鐵道期成同盟會にては朝鮮輕便鐵道會社に許可されて同地より安東までの敷設確定せしに就て十一月一日午前十時より金泉學校組合事務所前に於て祝賀會の開催をなす由

光州酒造認可
松田德次郎氏外六名よりの申請に係る光州酒造株式會社設立の件は二十四日附許可の指令ありたるが同社は本店を全南光州郡に置き資本金二十萬圓を以て清酒及び各種酒類或は之れが原料等の製造販賣をなすものなりと

麻生鑛業出願
資本金三百萬圓にて鑛業其他鑛業經營、鑛石及び鑛山の賣買、鑛石其他運送業及び之に附帶する事業を營む目的と爲し京城南山町麻生音波氏外七氏にて麻生鑛業株式會社の設立計畫あり目下出願中なり

兒島中將巡視
兒島憲兵司令官は平壤義州海州地方巡視の爲藤井中尉及び竹下主計を隨へ二十八日午前南大門驛發出張せり

○草間財務官招宴　二十七日夜新任露國駐劄財務官草間秀雄氏來城に付き同氏と同窓の工藤京畿道第一部長等數名は草間氏の爲め同夜花月に於て張宴せり

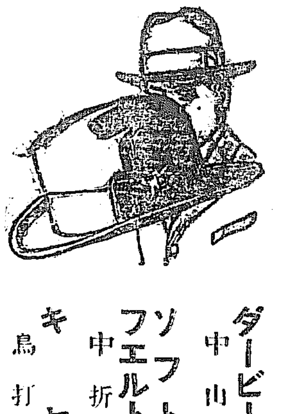
人事消息
▲齋藤大佐（〓林日本館間） 廿七日夜入城朝鮮ホテルへ
▲不破數馬氏（佐世保鎮守府海軍大佐） 廿七日夜着釜同十一時發北行せり（釜山特電）

鳥瞰錄
大戰後歐米の人心に變調を來して居る事は蔽ふべからざる事實だが我國などでは少年の心理に迄著しい變調を來して居る▲先づ教育家や君達に少年父兄の參考として鳥渡御紹介申さう▲先づ悪いはうでは十三歳の少年が失戀の結果自殺を遂げたのもある▲次は八人の少年が一團を組んで一戶を構へ組織的な方法で窃盜を働いたり十五歳の少年が一週間内に十軒の家へ强盜に入つたりしたのがある▲又善いはうでは十六歳になるのが戰爭の時軍隊加入を許されないで獨軍が白國へ侵入する前白國に單身赴いた▲處が忽ち囚はれた併し未丁年の故に放たれて歸國するや熱心な募兵勸誘の演說者となつて押し歩いた▲又ブリストルの一藥種屋の小僧が貯へた四十磅の金で車一臺と馬匹を買つて石炭業を始め▲僅の間に一年百三十磅といふ家賃の家に入つて十一人の男と八人の女を使役して政府の飛行機關の請負となつたとある

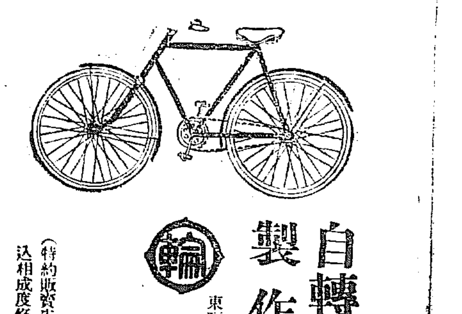
下關期米特電
二十七日前場（晴）軟派踏上げ
寄付 [illegible] 高値 [illegible] 安値 [illegible] 引 [illegible]
二十七日後場（姿の）商調子
寄付 四二、三〇 中場 四二、八〇 先引 四二、五〇

東京株式特電
廿七日後場
商船 四一〇、〇〇
南滿製糖 四一、九〇〇

神戶期米特電
二十七 [illegible] 四三、三九



ダービー、ハツト 中山帽子 六圓以上
ソフト、フエルト、ハツト 中折帽子 二圓以上
キヤプ 鳥打帽子 二圓以上
京城本町 塚谷洋品店京城出張店



自轉車及部分品 製作發賣元
（輪）
東京府下南葛飾郡龜戶町押上七番地
（假事務所）東京市本所區相生町四丁目廿番地
日本製輪工業株式會社
電話本所 七〇〇四番 七〇〇五番
振替東京四七五〇〇番
（特約販賣店の御希望有之候はゞ至急御申込相成度條件御協議の上御取極可仕候）

世界的發明 輕便なる酸素の發生裝置は各國共發明を競ひ未だ其結果を得ざる今日本品は眞に世界に誇るべき理想的發明にして目下各國政府に特許手續中
醫界の革命 酸素療法は其應用の範圍極めて弘きに係らず從來酸素を得ること困難なる不便ありしも本器に依りて容易に之を得べく眞に是れ醫界の一大革命
本器の特色 極めて簡單なる裝置に二種の藥品を用ひ毫も火熱水分を要せず即時隨意に純良酸素を發生し而も絕對安全婦人小兒も取扱容易にして大さ僅に七八寸
適應諸症 流行性感冒、呼吸器疾患、特に喘息に特効、其他一般心臟疾患尿毒性百日咳貧扶的里等
募特約 天覽 二ルギ式自發酸素吸入器
醫界は勿論家庭に常備の必要ある應急救命具 詳細說明書申越次第直に送付す
（器械一切附屬品共一具定價金拾八圓藥品一回分四十五錢拾回分四圓也）
大阪市南區難波元町一丁目（大阪市電新川停留場前）
大阪工業所
電話南二九九二番
振替大阪四二五一九番

營業科目
特許鐵筋『コンクリート』電柱
一般『コンクリート』製品
東松式エレベーター、リフト設計製作
東松式架空索道設計製作
捲物機械クレーン、コンベアー設計製作
米國ヘルマン會社金庫並戶扉附屬品各種
大理石材並製品
其他建築材料諸器械
日本柱管株式會社
日本エレベーター製造株式會社
米國ヘルマン會社
馬淵大理石工業商會
朝鮮一手販賣 日米公司
京城府長谷川町八十六番地
電話一一五三〇番

ユートピア
一名金屬磨液
眞鍮、銅、ニッケル、錫、金銀其他總テノ金屬ヲ磨クニ手數ヲ不要品質ノ傷ムコトナク然モ價至ツテ廉ナリ故ニ御家庭ノ常備品トシテ一般ニ歡迎セラル
本品ハ遞信院及川崎造船所其他著名ナル官公署會社より多大の御用命を蒙りつゝあり
定價一磅一圓 送料十八錢
滿鮮一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇

京日案內
普通 一回御金七十錢 番外 一回御金一圓二十錢
▲申込後中途掲載中止は料金不返却
▲六回以上の申込は特に壹割引の事
▲照會は返信附に非ざれば回答せず
▲古本熱心高價買入 ▲御報參上
是非御試賣を乞ふ 本町二丁目
電話三一九五番 群書堂

乳母入用 但乳汁豊富者 田中
龍山漢鐵社宅六十五號ノ一

▲幹部社員並鮮人部長招聘
廿五歲以上有經驗者履歷書送レ面會日通知ス
京城元町二ノ八 富士生命保險事務所

女中入用 京城本町一丁目電話四七番 まからんや

外務社員高給招聘 高女卒業 希望者履歷書携帶本人來談あれ
京城南山町三京城ホテル前 電九三三 大正生命京城支部

求婦人社員 以上の有格者給料三十圓自筆履歷書送附あれ面會日追報す
京城ノ城門前 日本公債會社

自轉車 用車輪新荷著
十二吋二吋ダーシ壹吋六分九
電話一五一一 吉野町一丁目 永德商會

年金恩給 長期低利日歩 祭日ヲ不問
御立替可致候 ▲京城永樂町二 江州屋本店

自動車 フオード中古車 幌一臺箱一臺
右至急讓渡す 京城永樂町二 電話一二四七 榮洋行

▲鮮語科 新學期 三ヶ月修業 各級補缺募集
▲英語科 外人二名出席 京城西向ひ京城青年會 太平通一

賣買 セメント空樽 容器類 石油ブローカー 問屋
京城府元町一 電話四一六番 田中商店

社員招聘 希望者はアリタシ履歷書携帶至急來社 京城吉野町ノ二七 大場通信支社

仁川期米 二十七日後場

故明石將軍の面影

靴下の中に大金

其靴を失くして大騒ぎした滞獨中の憶ひ出

京城婦人病院長 工藤武城氏談

逝去した明石將軍とは私は十五六年前からの知己です、私が獨逸に留學當時將軍は中佐で當時の公使館附武官で伯林に滞留して居られたが彼の通りな構はぬ磊落豪放な人物であつたから股のポケツトなどへ何時も

穴だらけ 大事な物は入れて置けなかつたので金はヨク靴下の中へ藏つて置かれました或時ホテルブリストルに滞在中其大切な靴下が失つたので大騒ぎをやつて探したが見當らない終ひにはボーイが腹を立て一貫郎も日本の立派な紳士ではありませんか、彼麼

汚い靴下 を何時迄も探させずと新しいのをお買ひなさい」と申しましたが何ぞ知らん將軍の汚い靴下の中には或特別任務に使用する爲の何萬圓かの銀行券が入れてあつたので此時は流石の將軍も大分面食つたやうでした。又將軍の物を失ふのも有名なもので切符等は必ず

友人が持 つてやつたもので、將軍は殊の外語學の造詣深く獨は勿論佛露伊英の五箇國語に達して居たが伯林滞在中は獨語より知らない顔をし狸をきめて居たので倶樂部などで人が秘密な咄しをする場合は佛語を用ひて語つて居るところ

知らん顔 で殘らず聞きとつて了つて居たのです、其時代特殊任務に活躍したのは世人の知る通りですが其活動の模樣と云つたら實に素晴らしいものでした將軍の足跡を印する處直ちに何かゞ出來せずには止まなかつたのです。武辨一遍の樣でなかつたが人情も厚く

禪味の中 に人間味を失はなかつたのは將軍の特色でせう、師團長に榮轉して京城を去る時の荷物がトランク一箇だつたに徴しても奈何に簡易素朴の生活に安んじて居られたかが推測されます

明石元二郎

敬神家

便所に禮拜

某昵懇者談

子供の時から 明石總督が幼時から非常な敬神家で有つた事は隠れもない事實である是について美しい一つの逸話が殘つて居るそれは總督が

幼少の頃 (年齡は忘れたが)なんでも小西とか云ふ人に連れられて福岡から東京へ勉強に行く事となつた其途中下關に立ち寄つて龜山神社に參詣して將來の幸福を祈つた其時の事である神と云ふ神は決して冒瀆さないで禮拜するものだと云ふ

ことを **日常から** ちやんと心に定めて居た總督は此處でも神と云ふ神は悉く拜禮を怠らなかつたさうしてヤツと拜禮が終へて石段を降りかゝつたがフト思ひ出した樣に後戻りをして或る一つの小屋の前に跪づいて一生懸命柏手を打つて禮拜した小西さんは

吃驚して 直ちに總督の側に駆け寄り是れは神樣では無い便所だと云つて其の扉を開けて見せたさうである此一事を以てしても總督は如何に敬神家であつたかを伺ふに足るであらう(下關電報)

藝者から釣を取る

何處までも明石式

明石總督が卅八年頃西洋からの途朝鮮に立ち寄ると知人が會して一席の歡迎會を開いた席上數の藝妓が待つて居たので一人がれはお客だから藝妓共へ纏頭でも少し遣つたら何麼だと云ふので一人に五圓宛祝儀する筈だつたがポケツトから摑み出したのは十圓札計りだつたので分配した後で直ぐ五圓宛の剩餘を取り立てたと云ふ是なぞは明石式を最もよく發揮したものであらう(某將軍談)

梨本宮

漸次御輕快に

流行中御發病あらせられたる第十六師團長梨本中將宮殿下には其後御輕快に向はせられつゝあり(東京特電)

外國が援助せぬ證據

假政府の顛覆は當然

當局は根本から剿滅する方針

警務局 卜部保安課長談

上海在住不逞鮮人の巣窟の覆へされたと云ふ事は非常に結構な事である、假令夫が我政府から佛蘭西政府へ交渉の結果であるにしても佛國官憲が斷乎たる處置に出づるには其れに適應する理由があるからで恐いては又一にも二にも外國を

背景に したがる事大思想の鮮人の迷夢を覺すには相當の效果がある事と信ぜられる、不逞鮮人が同志を呼合し愚民を惑はす唯一の口實は米國なり佛蘭西なりの共和政體國が朝鮮に同情し渠等の行動を援助すると云ふにあるから目のあたり今度上海の出來事は

其看板 なり口實なりを撤去されたやうなもので無智の不良の徒は適切に頼む可らざる外國に倚るの愚を自覺するであらう。結社を解散された不逞鮮人が佛租界から更に他の租界地に入り同一の計畫を爲すやに懸念する人もあらうが

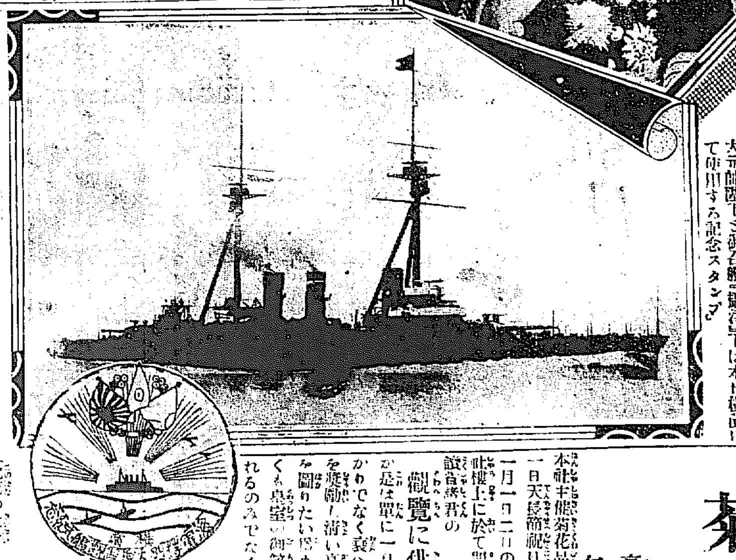
國際間 の情誼と云ふのは決して其麼ものではない、佛國が既に之だけの斷固たる處置に出でたものに對して米なり英なりが渠等の行爲を助長するやうな庇護を與へる道理がなく支那の如きは無論佛の例に倣うて一層嚴重の取締を勵行して我官憲の

活躍に 便を與へて呉れるであらうから不逞漢の一派は今後は從來の如く不企を逞しうする譯には行くまい、兎に角此機會に乘じて無論渠等を根本より剿滅するの計畫は着々歩を進められつゝある事を豫想して差支ない

賞品授與式

慶南釀造品評會

慶南釀造品評會は二十六日賞品授與式を擧げ閉會式後宴遊會ありたり(馬山特電)



觀艦式は今日

大元帥陛下と御召艦『攝津』下は本日横濱にて使用する記念スタンプ

菊花品評會

期日いよく切迫

高潔なる趣味の涵養 乞ふ奮つて出品あれ

本社主催菊花品評會は來る三十一日天長節祝日を第一日とし十一月一日二日の三日間に亘り本社樓上に於て開催し一般本紙讀者諸君の

觀覽に供 する筈であるが是は單に一日の興趣を貪るばかりでなく襲へかゝつた愛菊熱を奬勵し清い高潔な趣味の向上を圖りたい爲め菊花は畏れ多くも皇室の御紋章にまで用ゐられるのみでなく古來清高な

國士の梯 にさへ擬へられて居る花で其の氣品と云ひ風格と云ひ[illegible]捨て難い[illegible]を備へて居るのであるから他[illegible]此花の栽培を盛んならしめたいとは獨り本社の希望のみではあるまい。仍つて我社は率先して暫らく打絶えて居た品評會を再興し其趣旨を實地に

敷行し度 い考へて今回廣く江湖愛菊家の出品を促して居る

想へ美觀

彩られる會場

會場を本社樓上に選んだに就ては元來菊花は雨霜や冷氣や風を恐れる華奢だし萬一手入を等閑に附する樣な事があれば一夜の間に見る影もない姿と變り果てるのは人の知る通りで最初は本社後庭に天幕を張つて飾附する豫定であつたが萬一折角の出品を損傷する事があつてはとの懸念から特に本社樓上を解放する事にしたので本社樓上の講堂は勿論出品多數の場合には階下營業部の半部にまで及ぼして陳列する筈であるから當日は定めて滿都愛菊家の丹精の菊花に彩られる本社は紅黄紫白目も綾に滿香薫じて尋常ならぬ美觀を現出する事であらう

一等から五等まで

懸崖は三等まで選賞

花種は單瓣太管細物合間一文字の五種を一纏めとして之を大鉢小鉢の二樣に區別し(五輪以下を小鉢とし六輪以上を大鉢とす)此中より

大小に付 一等二人二等三人三等五人四等七人五等十八人を選拔し賞狀並に賞品を授與する筈である、懸崖は別に審査し一等一人二等二人三等三人を選拔する豫定で賞狀は一等金、二等銀、三等赤、四等黄、五等青の用紙を用ゐ

頗る美麗 なる物で出品には一鉢毎に花名及び出品者名を明記し三十一日に審査を了し翌二日には結果を發表する、出品其他に就ては社告の通り

審査員囑託

審査委員を以下委員を左の通り囑託したり

委員長 本田博士

委員 山下佐造、吉田狂介、江口虎卯、馬場二二郎諸氏

大雹降る

鷄卵大の 被害夥しい

平壤地方は二十七日朝八時より雷鳴あり十時十分より直徑一寸餘の鷄卵大の降雹あり中には鷄卵大の雹無數降下し屋窓硝子等破壞せられ瓦屋根は四五分の破れたるもあり殊に昨夕より落雷ありたるため窓硝子障子の損害甚だ多し庭樹其他一般農作物の被害調査中(平壤特電)

不逞漢就縛

假政府と呼應

過般國民新報と題し常に不穩の文書を撒布し居たる不逞鮮人李某外三名は數日前其筋の手に逮捕せられ本町署にて目下取調中なるが首謀者李某は其筋の捜査嚴重なるより江原道春川に逃走せるを追跡逮捕したるものにして京城府玉仁洞五十一番地李某(二三)方を家宅捜査の結果謄寫版三臺地中に埋沒し居たるを發見し同時に印刷物多數を押收せるが孰れも上海假政府と呼應し同假政府より千圓の資を得て斯の如き不逞の行動をなし居たるものなりと

危險!

仁川近海で獲れる魚類

衞生當局の談に曰く近來釜山府内及び牧の島海岸一帶に十數名の患者あり尚最近に仁川沖合の附島及び白牙島等にも約二十名のコレラ患死者あること發見せられ此の方面の海水は一帶に汚染せられたるを以て是等の近海にて採取せらるゝ魚族には

病毒附着 せるものと見ざるべからず然るに京城市中に販賣せらるゝ魚貝の多くは此の仁川及び釜山方面より來るものなるを以て頗る危險といふべし故に刺身等生の儘食することは勿論假令煮燒して用ふる場合にても調理の

器物等に 附着して自然病毒に犯さるゝ機會となる虞れあれば當分の間魚貝類は絶對に食用せざるを安全とす、最近コレラの終熄も近く全熄の途なきを以て自衞の爲よりいふも又折角病毒の侵入を防ぎ得たる京城府民としての公衆衞生の上よりみるも特に注意せられたし

開城の檢疫

月末撤廢か

開城内の虎疫大體に於て終熄の傾向を呈し來りたるを以て開城に於ける汽車檢疫は本月末を以て撤廢するに至らん

大泥棒逮捕

鐵條網破りの名人

市内昌信洞九百七十五番地閔昌植(三七)は舊韓國隆熙元年内亂罪により公州裁判所にて流刑十年に處せられ公州監獄に二年四ヶ月服役中日韓併合により恩赦出獄したる者なるが本年一月二十三日午後十一時頃昌信洞二百二十五番地閔泳徽方の鐵條網を潜つて屋内に忍び入り臺突に在りし現金百十五圓入手提金庫を窃取逃走し此起にて忠信洞二十五番地李容汶方裏手の鐵條網を潜り抜け室内に忍び込み現金二十七圓を窃取逃走したるが其後十月三日迄に十九回に渡り昌信洞、忠信洞、東崇洞、崇仁洞方面を荒し廻り千七百六十四圓六十五錢を窃取し巧に蹤跡を晦まし居たるを鍾路署にて嚴探の結果去月十二日昌信洞方面徘徊中を逮捕し訊問の末廿七日檢事局に送りたるが渠は頗る鐵條網の破壞に妙を得たる曲者なりと

豫言者

宮崎氏來る

講演會開催の計畫

『生神樣』で通つた豫言者宮崎虎之助君は明治三十六年十月二十五日發行の萬朝報紙上に於て文士伊藤銀月君から一種の變人であると言はれ世人からは『神樣』と綽號された變物である、當時大井憲太郎等と交遊して其頃東京の月島に居を構へ偶々

天の靈に 接し晝夜時を選ばず海邊に出て靈化を受け初めて靈は生ける神なりとの信道に入り『余は生ける神なり』『余は豫言者なり』と自認し時に月島の災害などを豫言したものである虎兒君は世間から『神樣』のニックネームを受け乍らも或る時は今は亡き光子夫人なると

上野公園 の大佛を背景に自己の信念や靈感に依り得る處の豫言などを堂々と試みたものである其間專心一意思想の宣傳に努め夫人も亦大いに之を助けて『幽冥界と我が新福音』『キリスト觀』『新に生きるには』等の著述をなし夫人光子を失つてからは

遺子照子 を擁して『思ひ出』を著述して凡ゆる名士文士、新聞記者等の光子女史に對する感想を蒐輯した『光子の聲』を著述して消息を絶つてゐたが此度自家の思想及び主義の宣傳を一層雄大に世界的に試みる爲海外に

雄飛せん と決心して去る二十五日朝金剛山の探勝を遂げた上入城した君は京城滞在中も[illegible]に獨得の講演會を開催し事に依れば例の[illegible]照子女史もそれに參加し、愛嬢照子は父の偉業を助けて大いに熱辯を振ふとの事である

狂犬か

二十五日午前十一時三十分頃南大門通三丁目野々村邊三方飼犬が折柄通行中なりし南米倉町三百三十六番地山下あい子(八)及び南大門通三丁目二十五番地永來龍吉(二)に咬付き負傷せしめたるより被害者は直ちに小林病院にて豫防注射を受けたり▲廿五日午後四時三十分頃旭町一丁目二百三番地池田こと方飼犬が高陽郡漢芝面新村金昔出(二)に咬付き負傷せしめたれば直ちに島崎病院にて豫防注射を受けたり右に付き警察は咬傷犬の警留を命じ血液は細菌試驗場に送り目下試驗中である、

浄瑠璃

▲フト藝妓には肥つたのが多いやうだ、是れは腹に力を入れるからだといふ説もあるが餘り肥つては困る▲論より證據、京城のフト藝妓は皆小肥りに肥滿してゐる、中には餅に搗いたら美味さうなのもある▲そこで餅に譬へると若は、窓餅、三福は大福餅、小い、猿は川餅、大八はあんころ餅、勵助は牡丹餅だらうアハヽヽ▲京城の高野祥雲翁は病氣のためテン界から引退した▲七十翁千賀智芳氏は故郷小田原で好きな三味線を樂んでゐるとの便り▲東京の新富座へ大阪の素人名人見風改め二代目豊竹呂昇一行が乘込んで開演してゐる、このの一行が鮮滿を巡業したら賑しい事であらうのテン界も活氣付くであらう

○高野祥雲翁歸る 講家高野祥雲氏は五月以來内地旅行中なりしが宮島、名古屋、日光等に於て霊錢を肥やし目下團體中の帝展を見物し三日前に歸宅せり

夜の蜘蛛

九

挿畫 近藤紫雲

江見水蔭

『然うね。小糸さんに、こんなに凭り掛られると隨分重いね。罪が積つた僕だね。けれども僕は倒れるまでも負ぶつて行くね』と敏春は答へた。

『頼母しい方ね。では是非今度の日曜には玉川端へ連れて行つて頂戴な。其代り、妾、今日は貴所が好い所へお連れ申しますわ』とカルメン小糸は猫を冠つて、何處までも柔和しさうに口を利いた。

『何處へ連れて行く?』

『それは好い處ですは。何處と云つて今發表しない方が好う御在ますわ』

『然うね。行先は何方だか、それは併し問題ぢやァ無い。小糸さんが行く處なら、何處へでも附いて行きたいんだ……』

『まア、若樣、仰有るわねえ』

『だけれども、今日は僕、少し都合が悪いの……今日は早く歸らなければ成らない事が屋敷の方に有るんだからね』

『ぢやァ妾に附合つては下さらないのですね』

『殘念だけれども今日は失敬する……あッ既う早いね。桐ケ谷へ掛つたね。これから五反田から大崎へと此自動車は行くの』

『ね、然うです……けれど、ま何方へでも參りますわ。何でしたら御屋敷まで御送り致しますわ』

『屋敷へ小糸さんの自動車で送り込まれると、頭の古い三太夫なんか吃驚して了ふわ。僕が歌劇が好きで、それから其歌劇女優の小絲嬢を後援してゐることは眞實にそれだけの事實なんだけれど、變に二人の間を解釋されては困るから……』

『あッ、それは然うで御在いますね。藝術の神聖な事を認めて下さる方は少いんですからね』

『五反田驛の前で僕を下して貰つて、それから山の手線の電車で僕は歸る』

『それでは然うしませう……ですが、折角斯うして御同乘が出來て嬉しいと思つてゐましたのに……此儘お別れするのは惜しい樣な氣がしますわ』

『其代り、今度の日曜日には、玉川端へ遠足して一日樂しく遊らせるわ』

『左樣ですね。其時、妾、翡翠の曲玉を拾ひますわ』

『僕は勞れた人を負つて、誠意を示すわ』

『まア嬉しい!』

運轉手は又此時ブツブツと警笛を急遽しく鳴らして、自分は又咳拂ひまでした。

敏春の頬は林檎の樣に紅く[illegible]ゐた。片側から硝子窓越に夕日の光を受けたからであらう。

然う斯うしてゐる間に、自動車は突然停車した。それは、山の手線ガアド下を拔けて、直ぐ五反田驛の前である。

命じなくても運轉手の方で然うしたのも、心中面白からず思つてゐるゴダムダム彌次のムシャクシャ腹の發現である。

『ホツ、最う五反田へ來ましたわ』

『では、此處で失敬!』

慌しく敏春は自動車を降り、直ぐと構内に飛込んだ。

これを小糸が見送つてゐると、彌次は扉を締めに來た序に、人に知れぬ樣に密と小手で、小糸の頬を張つた。

『痛いわ。何すの、此人は?』

『何だツてあんな小伜ツ子を乘したんだ。然うして何處かへ一緒に行かうなんて、如何いふお前は了簡なんだい』

『だツて、あの方、牧島子爵の坊ッちやんですわ』

『子爵の坊ッちやんが如何したと云ふんだね』

『あら、分つてるぢやァ無いの次ぎなる藝當に取掛るんだわ。田部谷の方は片附いたから、今度は、あの貴公子を保護にして一仕事打つツもりで、あゝして傍に掛けたのが、お前には分らなかつたの』

『うむ、然うか……』

『默つて運轉手!早くお走らせよ』と今度は女の方から權面を張返した。

『はい〱、御命令に從ひます』

ゴダムダム彌次も降參して頭を縮切つた。

將棋新手合

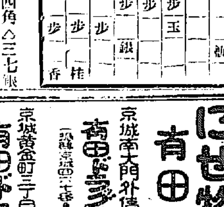
其四

角落 ▲京城濱口木光治(六段) △京城龍谷順太郎(三段)

(於京城若草町九七濱口木將棋所)

(圖は前號指了迄の處)

△持駒濱口木氏飛金銀二桂歩二



△三三歩ナル ▲六四角 △三七銀 ▲六八飛ナル △三六玉 ▲二四銀 △三四と ▲四五金(リ) △二六玉 ▲四六角 △四銀 ▲二八龍 △二玉 △二七歩 ▲四六金 △二四と ▲三五銀(ヌ)(以下次號)

濱口木六段講評

▲(リ)四五金打ちは強くして面白し若し上手方四五金同歩と取れば三七角同玉五七龍玉にて何な合しても以下必死となりて逃ぎなし

▲(ヌ)三五銀打ちは面白し

詰將棋解答(第二回)

△正解 三一角打 二二玉 一三歩打 同桂 二一銀打 同玉 二二銀打 三二玉 二一銀打 四一玉 五二銀打 同玉 五三角なる 六一玉 七三桂不成 七二玉 六三龍 八二玉 九二歩なる 同玉 七四龍馬 八一玉 九二歩打 八二玉 八三桂なる迄二十五手也

▲正解者 京城木下清吉、同南谷清治郎、龍山水谷壽作、平壤本田哲治、釜山井口米治郎

以上の外安州松本木公子の解答は記號に誤りあり又京城大村精一氏の解答は同じく二十五手なるも歩一手に又別に二十七手詰三十一手詰を寄せられたる人多數あるもいづれも正解に入らず

▲入賞者 正解者五氏につき抽籤の末左記を入賞者とす

龍山彌生町拓永方 水谷壽作

にせが出來る

有田ドラッグ

にせ物あり 有田 製藥販賣

◉あらゆる治療をすゝむ效なき患者は兎に角一度來談あれ

分析料 百圓進呈

京城南大門外停車場通 有田ドラッグ藥舖

京城黄金町三丁目電車通 有田ドラッグ (長電話二八三番)

龍山練兵場前

釜山大廳町二丁目

釜山本町三丁目

平壤櫻町十二番地

仁川宮町二丁目

大邱驛停車場前

鎭南浦三和町五五

開城南本町二八九

晋州大安洞榮町

全國の都市に支店あり

りん病 ばいどく 請合藥

◉麻病新薬は治麻劑とし梅毒薬として學上最有効と確定し醫科大學帝國大學病院等にて實驗配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は

にせよ 沢山出來ますよ

サック 特製

男子專用珍具

月花堂

ちぢれ毛

ドンナ雜な毛でもタシカに直ります

東京淺草山の宿五十一 丁己堂

貿易逆調原因

輸入增加

金山短銃情死

ライオン齒磨
慈善券引換殘餘金第拾八回決算報告

一金貳萬參百貳拾七圓四拾九錢參厘　但自大正七年壹月至同拾貳月滿壹ケ年間ライオン齒磨（小中袋入）貳千參拾貳萬七千四百九拾參袋賣捌に付此の慈善券總金額

內　金九千五百八拾七圓參拾四錢參厘　自大正七年壹月至大正七年拾貳月　滿一ケ年間ライオン齒磨慈善券付空袋九百五拾八萬七千參百四十參袋引換金額

差引金壹萬七百四拾圓拾五錢

內　金壹千四百五拾七圓貳錢參厘　自大正八年一月至大正八年八月廿五日　ライオン齒磨慈善券付空袋百四拾五萬七千〇貳拾參袋引換金額

差引引換未濟　金九千貳百八拾參圓拾貳錢七厘

右金額左記之通り分配致候也

金額	地名	團體名
金貳百九拾圓	東京市小石川區大塚町	東京市養育院
同	同京橋區銀座二丁目	救世軍慈善事業部
同	岡山市門田屋敷	岡山孤兒院
同	大阪市市役所內	大阪弘濟會
金百參拾圓	東京市芝區芝公園	日本赤十字社
同	同麹町區飯田町	愛國婦人會
同	同牛込區市ケ谷河田町	帝國軍人後援會
同	大阪府神津村	博愛社
同	大阪府生野村	大阪汎愛扶殖會
同	東京府下澁谷町	福田會育兒院
同	同赤坂區青山南町六丁目	東京育成園
同	東京市神田區元柳原町	東京出獄人保護所
同	同麹町區飯田町	婦人共立育兒會
同	東京府巣鴨町	家庭學校
同	橫濱市南太田町	橫濱孤兒院
同	同根岸	幼年保護會
同	山梨縣身延山	身延深敬病院
同	名古屋市矢場町	愛知育兒院
同	廣島市尾長村	廣島育兒院
同	熊本市新屋敷町	熊本回春病院
金八拾圓	東京市本所區若宮町	無料宿泊所
同	東京府目黑村	慰廢園
同	同巣鴨庚申塚	瀧乃川學園
同	東京市下谷區上野櫻木町	同愛社
同	同四谷鮫橋谷町	二葉保育園
同	北海道函館區新川町	函館慈惠院
同	神奈川縣鎌倉町	鎌倉小兒保育園
同	前橋市岩神	上毛孤兒院
同	仙臺市北四番町	仙臺育兒院
金八拾圓	岐阜縣揖斐郡富秋村	濃飛育兒院
同	豐橋市東田	豐橋育兒院
同	金澤市常盤町	小野慈善院
同	神戸市中山手通	神戸孤兒院
同	松江市內中原	山陰家庭學院
同	同北田	松江育兒院
同	鳥取市東町	鳥取育兒院
同	神戸市市役所內	戰役紀念保育會
同	熊本市西坪井町	肥後慈惠會
同	福岡市下祇園町	龍華孤兒院
同	長崎市櫻馬場町	長崎盲啞學校
同	朝鮮京城	京城濟生院
同	東京市本鄕區本鄕二丁目	白十字會
金五拾圓	布哇ホノルル	布哇日本人慈善會
同	新潟市學校町通	新潟育兒院
同	長野市元善町	大勸進養育院
同	長岡市大工町	長岡福田院
同	同阪上町	長岡盲啞學校
同	秋田市諏訪町	感恩講保育院
同	北海道小樽區奧沢	小樽育成院
同	同小樽區住ノ江	小樽慈惠病院
同	同小樽區奧澤	小樽盲啞學校
同	靜岡市井之宮	靜岡ホーム
同	岐阜市梅ケ枝町	岐阜訓盲院
同	名古屋市養老町	名古屋養老院
同	津市丸ノ內	三重濟美學院
同	大津市三井寺內	滋賀縣育兒院
同	金澤市上鷹匠町	金澤育兒院
同	京都市二條	平安德義會孤兒院
同	同聖護院町	京都救濟院
金五拾圓	京都市岡崎町	平安養育院
同	大阪市中ノ島六丁目	大阪婦人ホーム
同	同天王寺細工谷	大阪約翰學園
同	大阪府天王寺村	大阪養老院
同	神戸市奧平野稲谷	神戸愛隣館
同	神戸市下山手四丁目	神戸養老院
同	同荒田町四丁目	神戸報國義會
同	岡山市花畑	岡山博愛會
同	岡山縣笠岡町	甘露育兒院
同	廣島市大須賀	廣島修道院
同	山口縣長府町	防長孤兒院
同	佐賀市水ケ江町	佐賀孤兒院
同	長崎市浦上山里	長崎浦上養育院
同	鹿兒島市鹽屋町	鹿兒島養育院
同	松山市府中町	愛媛慈惠會
同	丸龜市府中	海南慈善會
同	高知市本町	高知慈善協會
同	臺灣臺北	臺北仁濟院
同	東京市深川區西平野町	勞働共濟會
同	大連市伏見臺	大連慈惠病院
同	埼玉縣浦和町	埼玉自彊會
同	水戸市上市北三ノ丸	水戸保護會
同	滋賀縣膳所町	滋賀縣保護會
同	東京市淺草公園第五區	淺草寺救護所
同	和歌山縣有田郡藤並村	和歌山有田學園
同	沖繩縣那覇區西新町	沖繩自營會
同	宮崎縣宮崎町	日州出獄人保護會
同	京都市東寺	濟世病院
同	新潟市西堀通三番町	新潟盲啞學校
同	大阪市惠比須町	大阪職業紹介所
金五拾圓	山口縣山口町	山口育兒院
同	高田市中寺町	高田盲學校
同	新潟縣柏崎町	中越盲啞學校
同	靜岡縣駿東郡富士岡村	神山復生病院
金參拾七圓	熊本市外島崎村	待勞院
同	東京府大久保百人町	慈愛館
同	千葉縣成田町	成田山感化院
同	前橋市內前代田	前橋積善會
同	高崎市下横町	高崎育兒院
同	福島市清明町	福島育兒院
同	仙臺市元寺小路	東北慈惠院
同	山形縣鶴岡町	鶴岡育兒院
同	弘前市新寺町	東北育兒院
同	豐橋市東田	豐橋盲啞學校
同	三重縣桑名町新町	九華育兒院
同	富山縣堀川村字西中野	富山慈濟院
同	福井市尾上仲町	福井縣育兒院
同	橫濱市根岸町字竹の丸	橫濱基督教訓盲院
同	大分市東新町	大分育兒院
同	長崎市東中町	長崎孤兒院
同	鹿兒島市武町	鹿兒島盲啞學校
同	高松市二番町	讃岐學園
同	德島市福島本町	阿波國慈惠院
同	鳥取縣倉吉町	因伯保兒院
同	東京府下澁谷	報恩會
同	盛岡市加賀野	盛岡孤兒院
同	東京府瀧ノ川町中里	東京養老院
同	京都市姉小路通	京都盲啞保護院
同	大阪府今宮村	大阪自彊館
同	奈良縣丹波市町	天理教養德院
金參拾七圓	長野市西後町	長野盲啞學校
同	大分市大分町	大分盲啞學校
同	東京府下澁谷村羽澤	東京感化院
同	神戸市再度筋	神戸訓盲院
金參拾圓	滋賀縣彦根町	彦根訓盲院
同	奈良縣[illegible]原町	大和育兒院
同	若松市追手小路町	會津孤兒院
同	水戸市上市仲町	茨城孤兒院
同	福島市宮ノ下町	福島訓盲學校
同	福島縣郡山町	郡山訓盲學校
同	盛岡市花屋町	岩手育兒院
同	新潟縣小千谷町	魚沼孤兒院
同	同中頸城郡春日村	和敬育兒院
同	北海道札幌區南七條西一	札幌孤兒院
同	靜岡縣吉原町	富士育兒院
同	愛知縣岡崎市	岡崎盲啞學校
同	四日市市濱田	三重感化院
同	福島縣須賀川町	須賀川幼兒保育所
同	青森縣八戸町	東奥盲人學校
同	埼玉縣川越町	川越就實園
同	千葉縣千葉郡都村貝塚	千葉縣歸性會
同	埼玉縣比企郡菅谷村	埼玉育兒院
同	宇都宮市戸祭町	下野三樂園
金四拾圓拾貳錢七厘	千葉縣安房郡北條町	千葉縣育兒園

合計　九千貳百八拾參圓貳錢七厘

拜啓　大正七年度ライオン齒磨小中袋入添付の慈善券引換に就ては曩に謹告致し候通り『大正七年十二月限引換』とあるものは愈々去る八月廿五日を以て全く締切申候仍て該慈善券引換未了殘餘金は前例に依り慈善事業に喜捨すべく各方面に向つて嚴密なる調査を遂げ候上前記の如く割振決定致し直ちに其寄附萬般の手續を終了仕候茲に謹んで第拾七回の決算報告を明かにし併せて內外に亘る愛用者各位の深大なる御同情を感謝し更に倍舊御愛顧の程を伏して奉冀候　頓首

二伸　ライオン家庭用齒磨大袋入は一般各位の御意に協ひ候こ相見え、近年御需要頓に激增致し、慈善券付小中袋入の販賣額を淩駕するに至り候にも拘らず、尚ほ斯くの如く慈善事業に喜捨するの運に相成候は全く各位眷顧の賜こ特に御厚禮申上候

大正八年九月

ライオン齒磨本舖　東京・大阪・名古屋　株式會社　小林商店

▲新輸入著荷▼
眞正ラウンドオーク印 ストーブ
第十四號 金百貳拾圓 第十六號 金百參拾五圓 定價
セールフレザー株式會社
京城竹添町一ノ七五 電話二貳四〇番

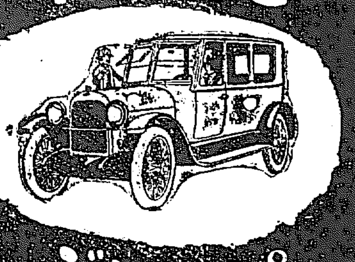
滋養強壯劑 GLYCONAL
グリコナール
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル營養劑ニシテ五〇%ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
適應症。一般虚弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ達スル事ヲ得。
▼百錠入金壹圓拾五錢‖說明書進呈ス‖各藥舖ニ有リ▲
東京室町 三共株式會社

最新刊

書名	著者	定價	送料
戰後の日米	長元	二、五〇	一八
銀行會計	兒玉	二、八〇	一八
▲朝鮮法令輯覽追錄 近日出來 總督府編纂		定價四圓	送料三十錢
西洋歷史集成（中の上）	坂本	三、五〇	一八
日本行政法總論	美濃部達吉	五、〇〇	二〇
政治途上の社會	石井宗吉	二、五〇	〇八
致富術	円物	一、八〇	〇八
商業心理學講話	時郎	一圓 二、五〇	〇八
▲孟子通義 眞下飛泉著		定價三圓	送料八錢
神佛の御利益調べ	石川光一郎	一、二〇	〇八
人誦の島で	松田義雄	二、〇〇	〇六
浮世の穴	浪六	一、三〇	〇六
美文良材ミ日記文の作り方		五〇	〇四
名將初陣回顧錄		一、六〇	〇八

京城本町一丁目 大阪屋號 電話六四番 二〇八六番 振替京城二五七三番

鎮靜催眠劑
臨床實驗 醫學博士山田鐵藏氏 醫學博士佐藤四郎氏 醫學士荒井恒雄氏 醫學士小川六三郎氏 醫學士眞島隆輔氏 醫學士橋健行氏 醫學士佐藤惇一氏 外數氏の臨床的報文を有す。別刷あり郵呈す。
カルモチン
（特長）全然無害（普通藥に屬す）にして持久するも胃障害其他の副作用なく又習慣性なし。
（適應症）神經衰弱、ヒステリー、神經性不眠、就眠困難、常習性頭痛、肺結核患者の亢奮狀態、姙娠嘔吐、船醉豫防等
（包裝）粉末二十五瓦入（金四圓）十五瓦入（金二圓五拾五錢）錠劑十五個入（金八十五錢）五十錠入（金貳圓參十五錢）（外に粉末百瓦入四百五十瓦入あり）
發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衞商店 電話本局二二四 二二一五番 二八八六 三一四四番 振替口座大阪二六二番

PAIGE

ページー
內外興業株式會社自動車部
自動車界の寵兒 ページ自動車
最も古き經驗を有し好評嘖々眞に信ずべき美麗なる自動車
本社 東京麹町有樂町一ノ五 電話本局（國）二一一七 二一八八 二三一九 二〇一八 三一五二 四八四六
支社 大阪堂島仲一 電北四八一 神戸北長狹通三 電三宮一五二一
出張所 京城長谷川町 大連大山通 電一五八三 六〇四二

資本金六百萬圓 積立金操越金百貳拾五萬圓
株式會社 十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城一八一四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五三番 振替口座京城一八貳三番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

優等清酒

京城本町一丁目 本莊酒店 電話六五四番
仁川京町 本莊支店 電話一六番
安東縣大和橋通 本莊支店 電話一七番